

The image shows a building facade with a large sign for Digital Garage. The sign consists of a stylized logo on the left and the words "Digital Garage" in a bold, sans-serif font on the right. The building has a modern, industrial look with concrete and glass elements. A flag with the Digital Garage logo is visible on the right side of the building.

Digital Garage

IT/MT/FT × OPEN INNOVATION

株式会社デジタルガレージ

2016年6月期 第2四半期 決算説明会

2016.2.12

 **Digital Garage**

目次

| | |
|----------------|----|
| ミッション&ビジネスモデル | 3 |
| インベストメント・ハイライト | 9 |
| 業績レビュー | 11 |
| 事業セグメント別レビュー | 17 |
| 事業トピックス | 34 |
| Appendix | 42 |

ミッション & ビジネスモデル





**Real & Cyber
Local & International
Marketing & Technology
Present & Future**

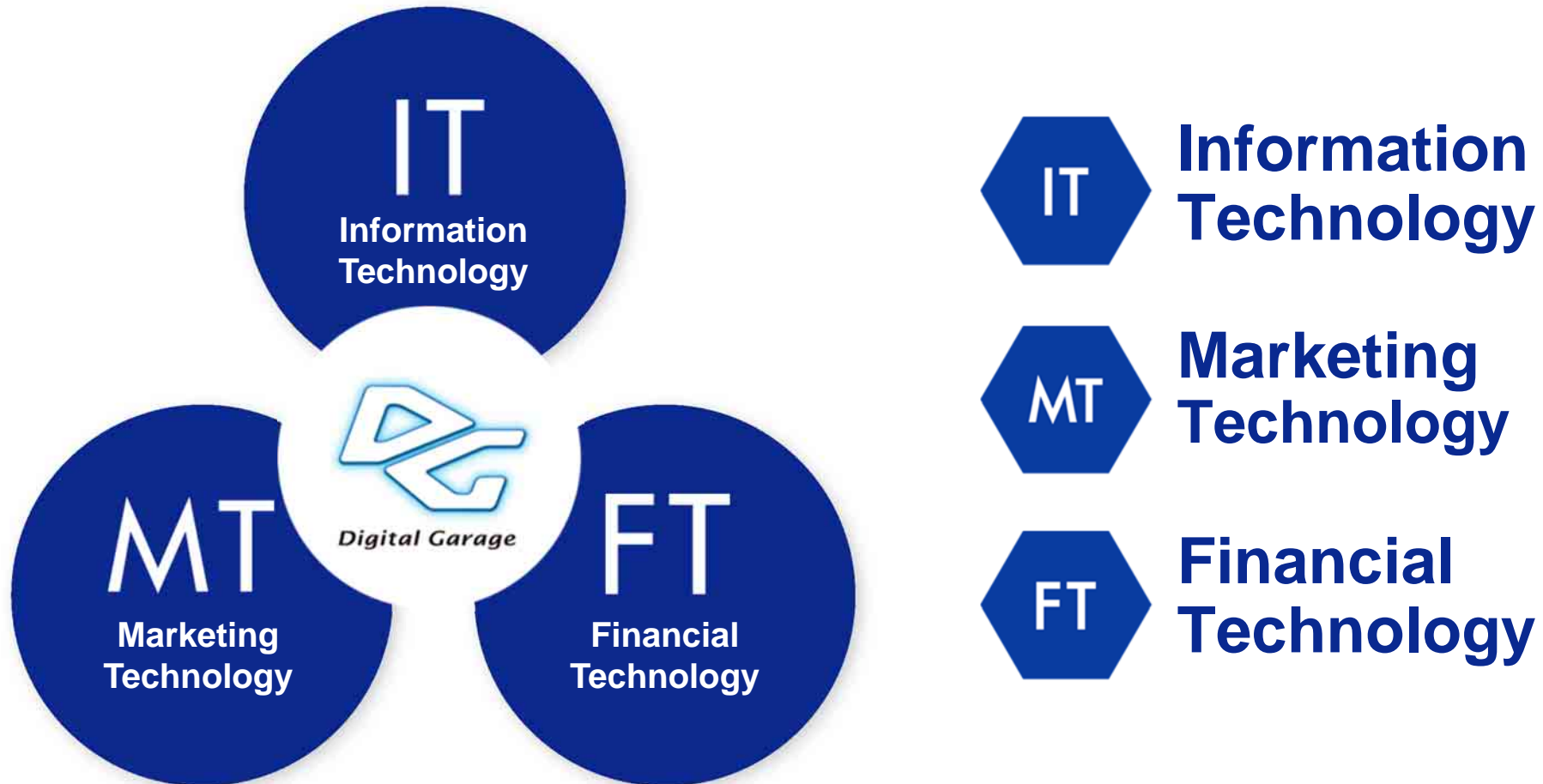
を結ぶ

Context Company

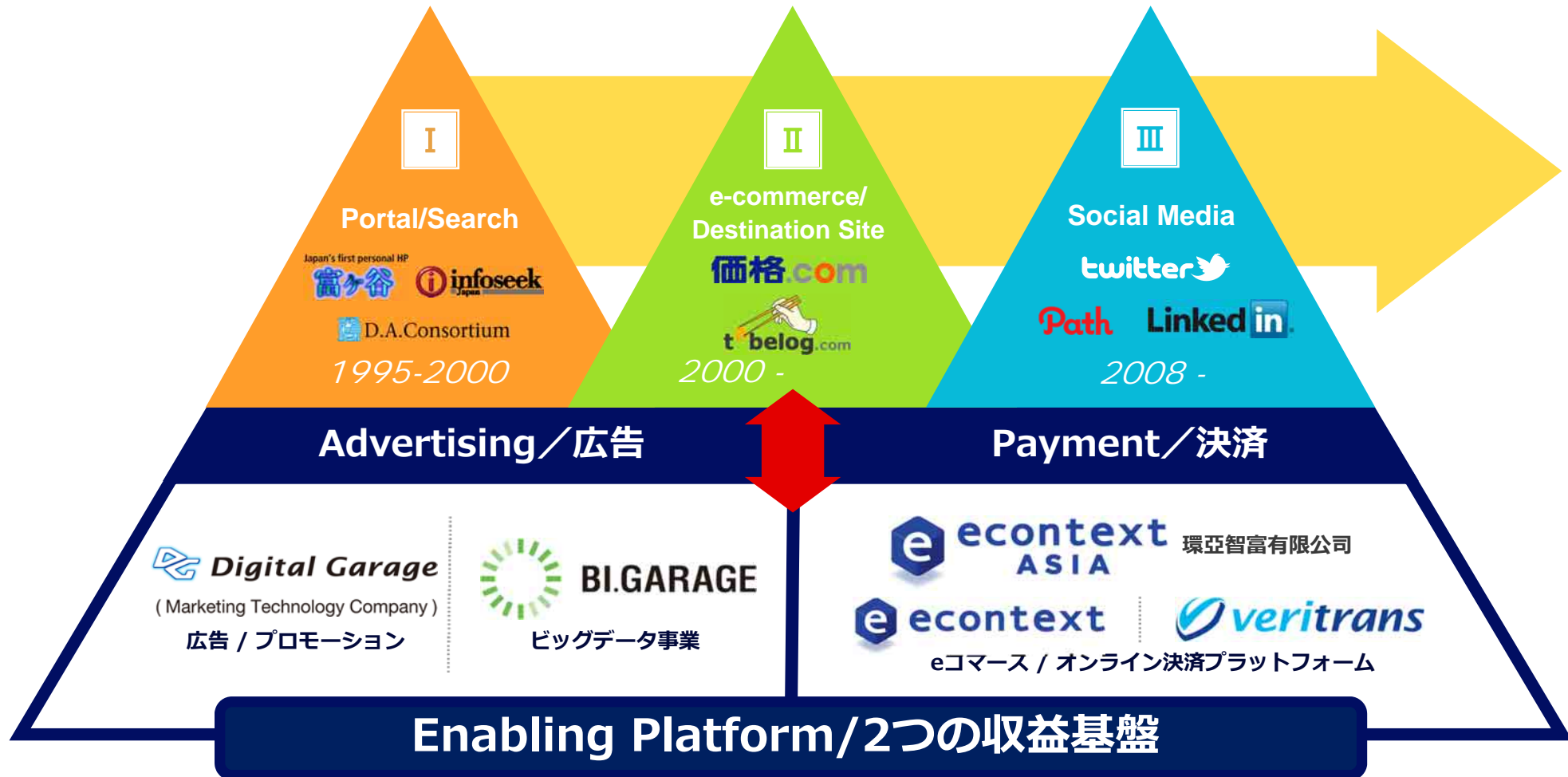
として

インターネット時代における
新しい生活・社会・産業への
ビジネスソリューション提供

インターネットビジネスを IT/MT/FT の
3つのコア機能を駆使し、プロデュース/インキュベート

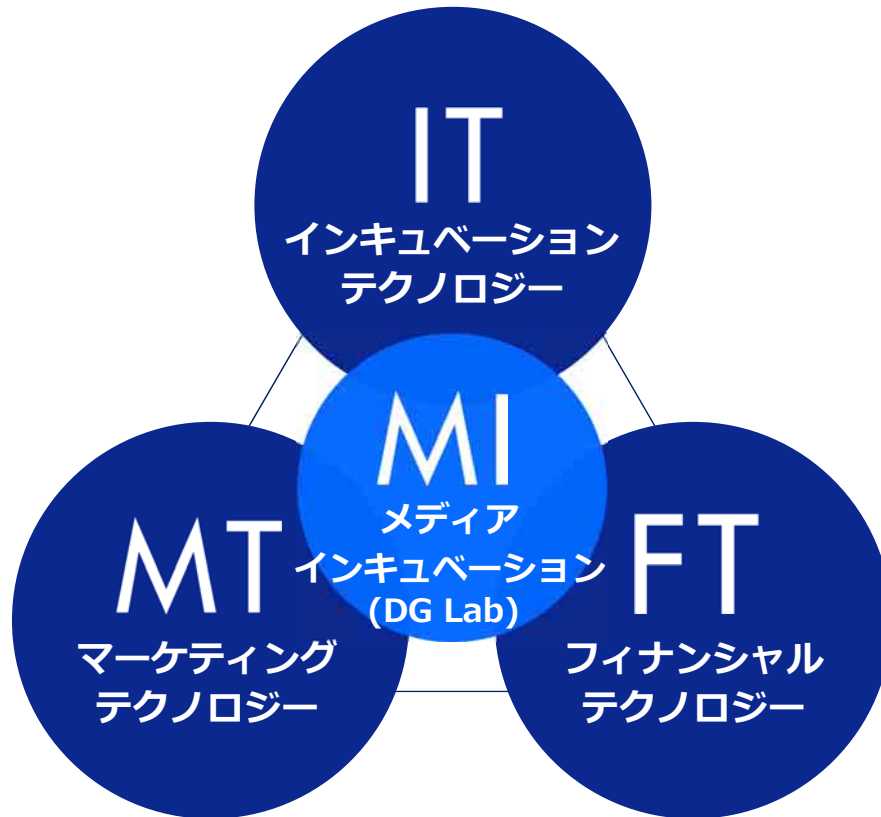


独自のEnabling Platformを活用し、黎明期よりDGは
日本を代表するインキュベーション事業を創造



IT/MT/FT × オープンイノベーション

～ 新たなコンテクストを生み出し続け、社会に貢献する～



I

IT/MT/FTの各セグメントで
オーガニック成長

II

各セグメントに及ぶDG独自の
横断プラットフォームにより、
インキュベーション加速

III

各セグメントを横断的に繋ぎ
カカクコムと次世代メディア
育成の新セグメントMIを新設

| | 2015.6期 | | 2018.6期 |
|--------------|--------------------------------|---|-----------------------|
| 税引前 当期純利益 | 92 億円 | ↗ | 150 億円 (CAGR +17%) |
| 連結 ROE | 17% | ↗ | 20% 超 |
| 連結 配当性向 | 23% 普通配当 4.6% 記念配当 18.5% | ↗ | 20% 超 20% |

インベストメント・ハイライト



新中期経営計画の初年度上期は計画を上回る着地、通期見通しも計画通り

～ 新中計の戦略実行を推進、オープンイノベーションへの取り組み開始 ～

I グローバルな投資エコシステムを推進

- O2Oサービスを展開する投資先のアイリッジが上場、インキュベーション成果を実現
- 「DG Lab」と連動した投資の第1弾として、世界的ブロックチェーン関連技術のBlockstreamに出資、戦略的実証実験を開始へ

II 広告・決済の収益基盤が拡大、年間決済取扱高が1兆円を突破

- スマートフォン向け広告が牽引、データ関連事業への先行投資を積極化
- 非EC領域（飲食、不動産等）での基盤拡大、金融機関への「決済OEM」提供を強化
- 次世代型「スマート決済プラットフォーム」構築を視野、総合FinTechカンパニーへ

III 「DG Lab構想」の取り組み開始、オープンイノベーション推進へ

- 米国の開発子会社を事業売却、リソースをDG Labにシフトし、イノベーションを加速
- ブロックチェーン、セキュリティ、人工知能、仮想現実、バイオテクノロジーを重点領域
- 第1弾として、投資先の弁護士ドットコム社と連携、スマートコントラクトを共同開発へ

業績レビュー



売上高

198 億円

前年同期比 + 10 %

営業利益

16 億円

前年同期比 △ 6 %

経常利益

26 億円

前年同期比 △ 22 %

税引前利益

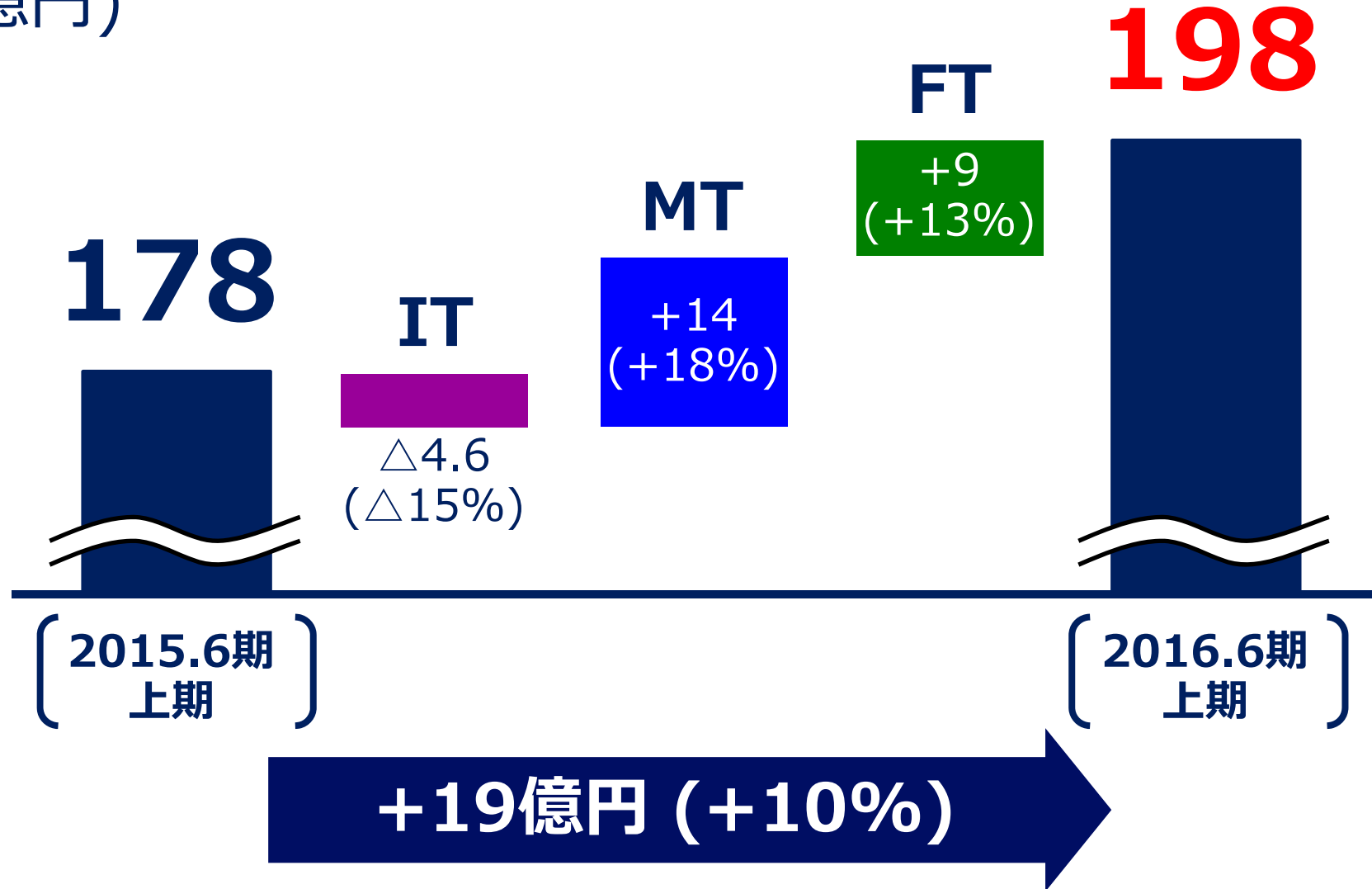
28 億円

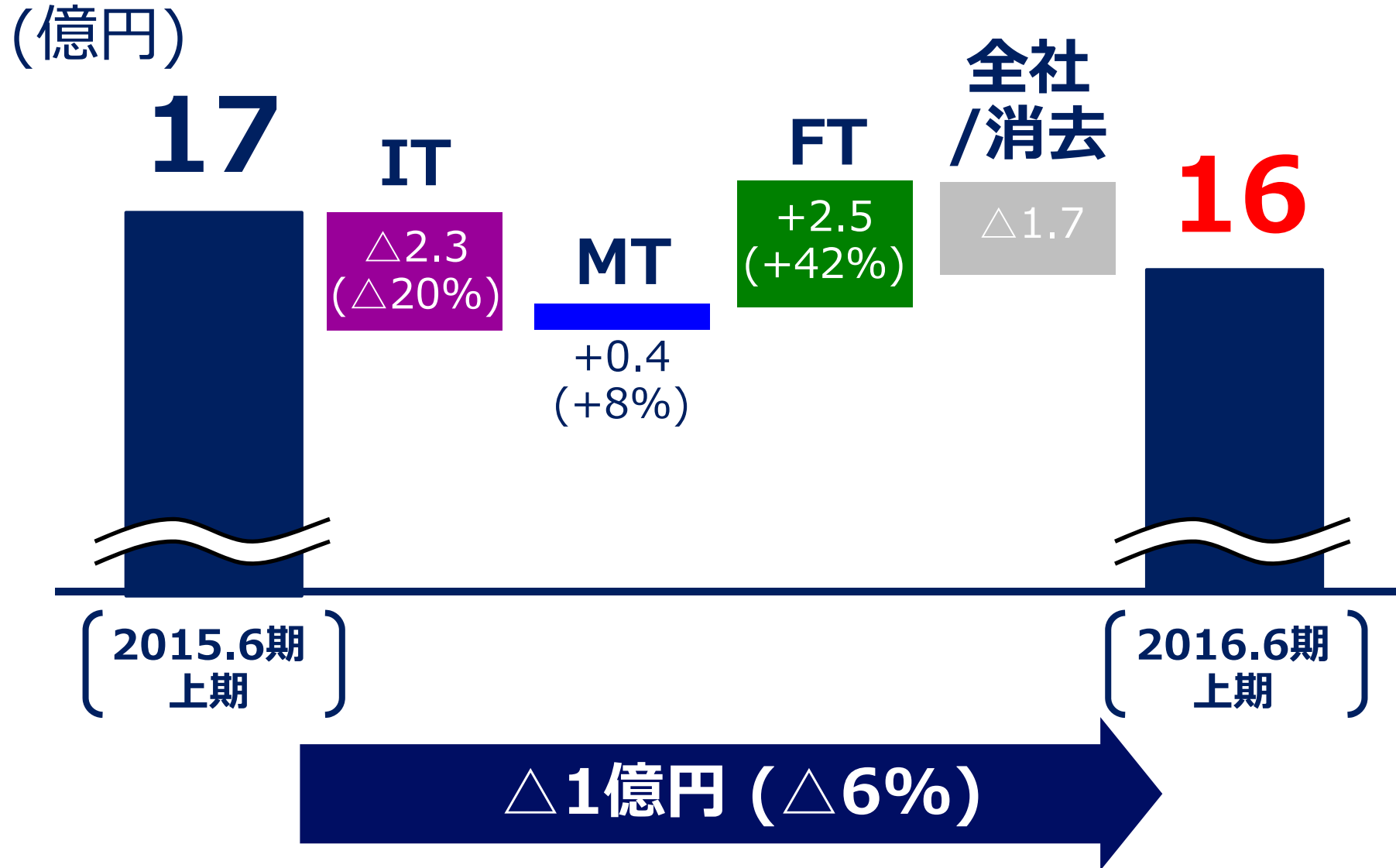
前年同期比 △ 50 %

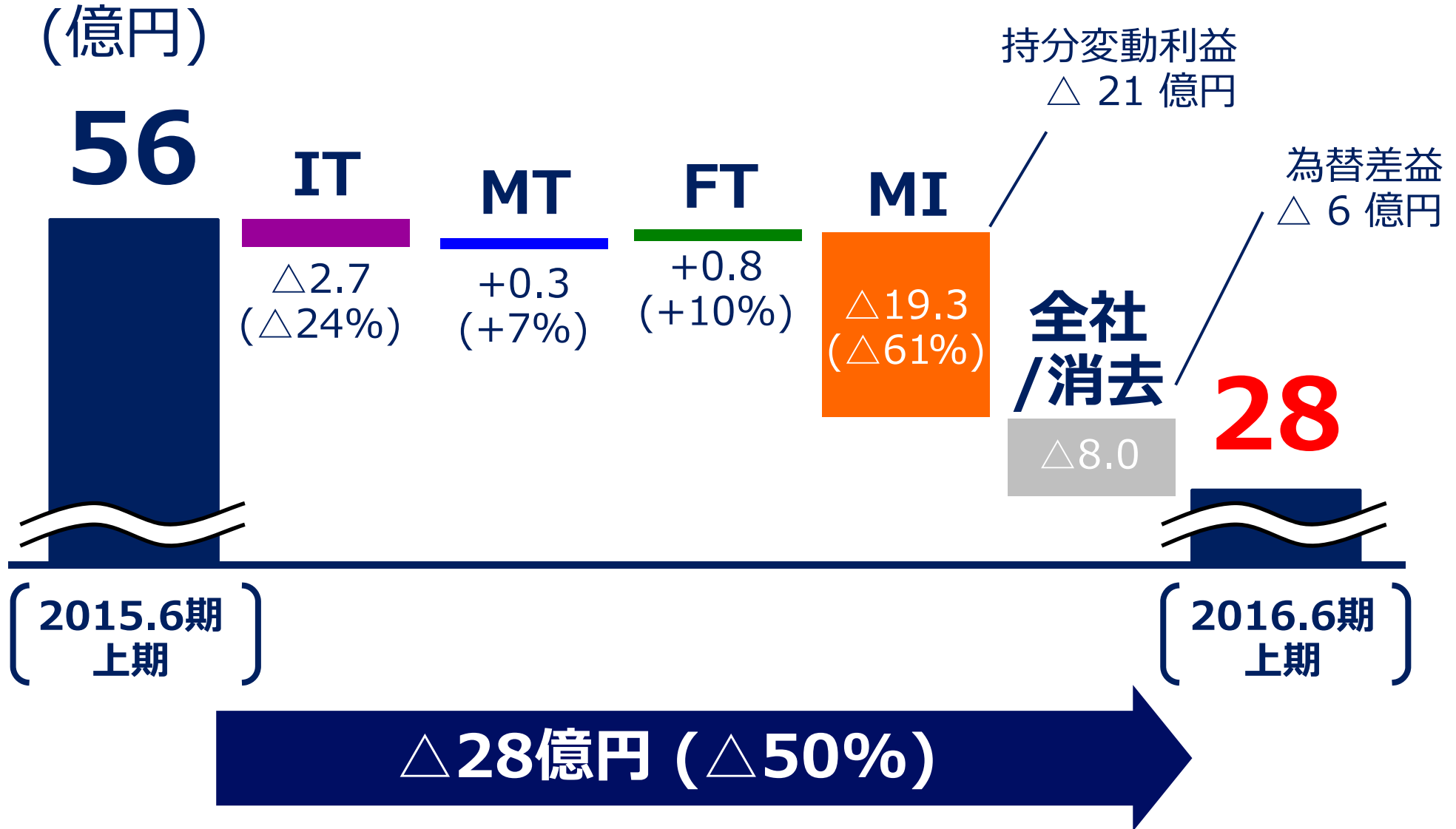
新中期経営計画の初年度上期は順調に推移、通期見通しも期初計画通り

- 売上高は前年同期比10%増の198億円と上半期過去最高を更新、営業利益は同6%減の16億円と予算超過
- MT, FTともに予算を上回る2桁増収、特にFTは前年同期比42%の大幅営業増益、年間取扱高が1兆円を突破
- カカクコムの特分法投資利益は順調に拡大も、前期の為替差益や特別利益の影響で税引前利益は減益
- 下期は、ITは海外で大型Exitを計画し、MT/FTは成長トレンドを維持、通期見通しも期初計画通り

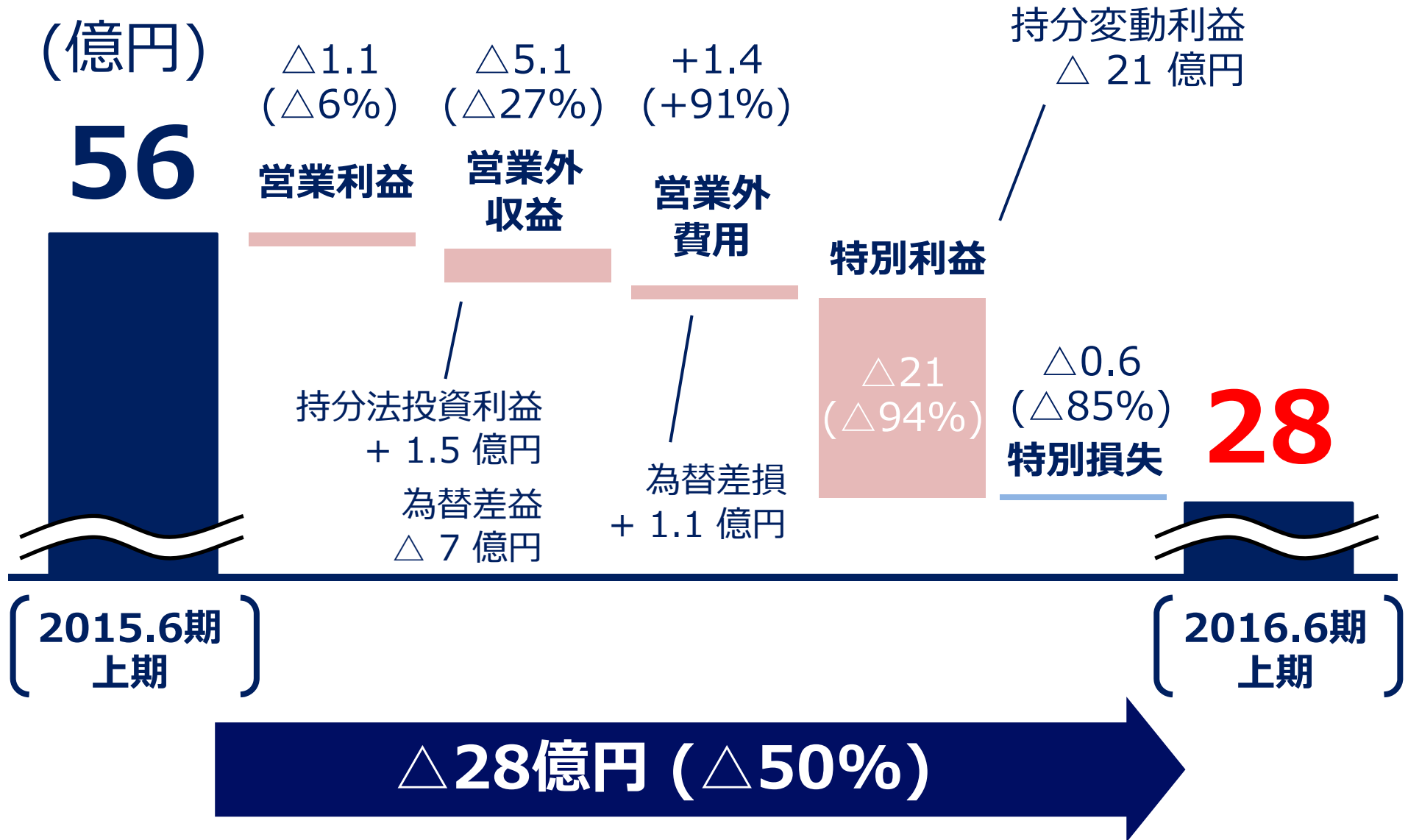
(億円)







税引前利益の増減要因 – 段階損益別



事業セグメント別レビュー



IT

- 投資先のアイリッジが上場、株式を一部売却
- 海外投資を含め、投資残高は130億円まで拡大

MT

- スマートフォン向け広告が順調に拡大
- ビッグデータ関連事業のアライアンス推進

FT

- 年間総取扱高が1兆円を突破（2015年暦年）
- 次世代FinTech領域の取組みを始動（ブロックチェーン）

MI

- カカクコムの特分法投資利益が順調に推移
- ソーシャルグラフを活用した新規事業を準備

I インキュベーションテクノロジーセグメント

| | 売上高 | 税引前利益 |
|------------------------|------------------|------------------|
| 2015年6月期 2Q(7-12月)累計実績 | 3,023 百万円 | 1,120 百万円 |
| 2016年6月期 2Q(7-12月)累計実績 | 2,557 百万円 | 849 百万円 |
| 2016年6月期 通期計画 | 7,000 百万円 | 4,100 百万円 |

▶ 株式会社DGインキュベーション

ベンチャー企業等への投資およびインキュベーション事業



▶ 株式会社 Open Network Lab

シードアクセラレータープログラムの第12期を実施中



▶ Digital Garage US, Inc.

米国を拠点としたグローバル戦略のヘッドクォーター



▶ 株式会社DK Gate (出資比率66%)

講談社と次世代コンテンツに関わる領域をグローバルに投資育成

DK Gate

▶ Kodansha Advanced Media LLC (出資比率19%/出資先)

米国・英語圏のデジタル配信におけるマーケティング、配信・映画化とイベント等の企画実行など

セグメント売上
25 億円

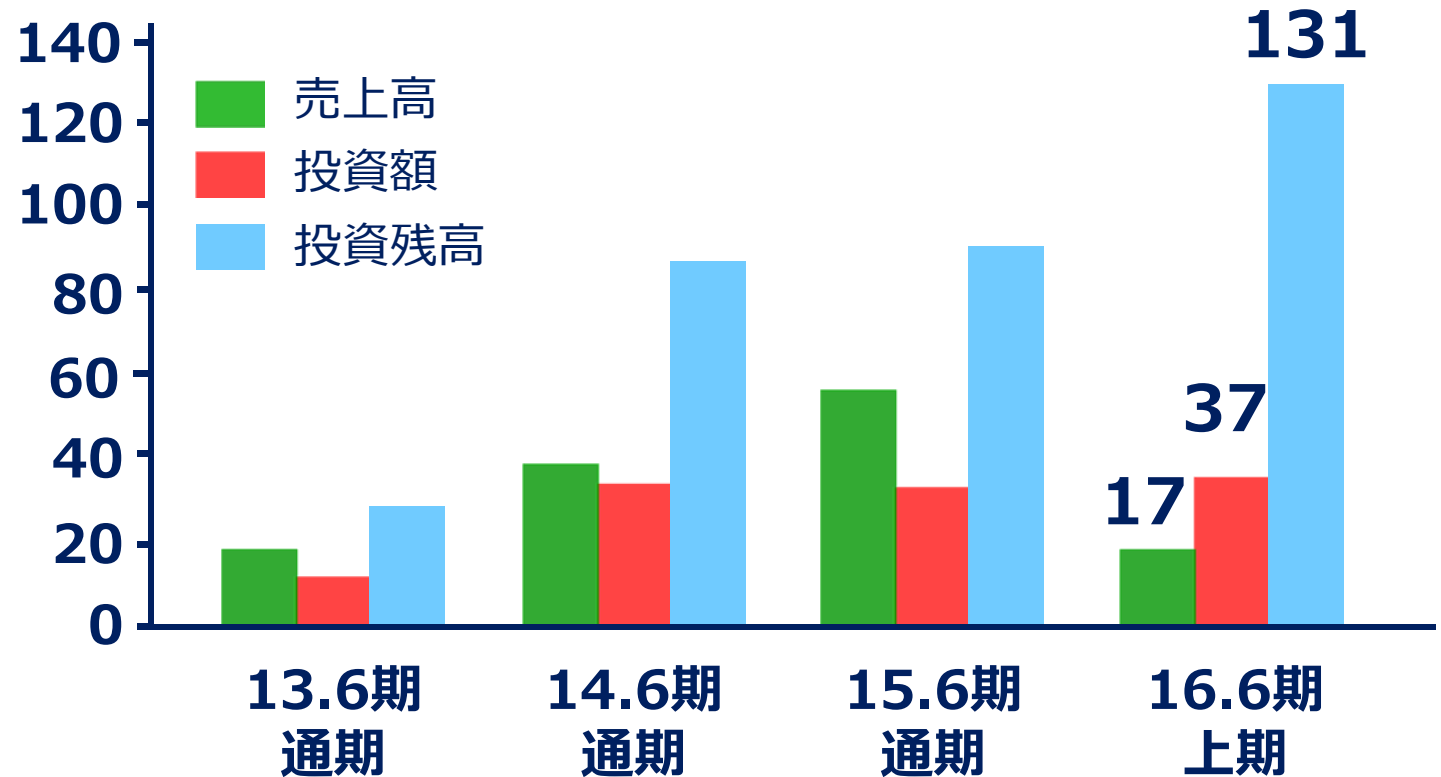
DGI売上
17 億円

投資残高
131 億円

投資額
37 億円

投資先のExitが順調に推移、
投資残高は130億円まで拡大

(億円) 【DGIの投資パフォーマンス】



（ポートフォリオの状況）

| | 社数 | 投資残高 |
|------|-----|--------|
| 株式 | 106 | 123 億円 |
| 国内 | 31 | 35 億円 |
| 海外 | 75 | 87 億円 |
| ファンド | 6 | 7 億円 |
| 計 | 112 | 131 億円 |

注) DGインキュベーションの投資残高
上場銘柄は期末時価による評価額
株式は転換権付融資含む

主要なポートフォリオ

新規



Blockstream [海外]

ビットコインのコア開発者を中心に設立。ブロックチェーンの多目的な応用を容易にするプラットフォーム技術「サイドチェーン」を開発

新規



Emotion Intelligence [国内]

感情を解析する人工知能エンジンを利用したECサイト向け購買行動解析・販促サービス「ZenClerk」を提供

新規



Digg [海外]

ソーシャルニュースサイトの草分け的存在、月間1200万人のユーザーを誇るキュレーションメディア

新規



モンスター・ラボ [国内]

世界15カ国約1万名のエンジニアに開発を依頼できるグローバルソーシングプラットフォーム「セカイラボ」を運営

新規



ウェルビー [国内]

慢性疾患、糖尿病、ガン患者向けのアプリを提供

新規



フーモア [国内]

クラウドソーシングで高品質なクリエイティブ制作（イラスト、3DCG、マンガ、音楽）を展開

グッドパッチ [国内]



スマートフォン及びPC向けのホームページの受託開発やコンサルティングを手掛ける

ContextLogic [海外]



モバイルのショッピングアプリ「Wish」を運営。評価額10億ドル以上の未公開スタートアップを指すユニコーン企業として注目

アジャイル開発の連結子会社Neoを事業譲渡。今後、リソースは「DG Lab」にシフトし、オープンイノベーションによる開発アプローチを志向

これまで

< ボラタイルする受託型開発 >



- 受託型で稼働率が不安定
- 開発者の人件費高騰でのリソース確保難

今後の方向性

< 戦略投資 × オープン形式のラボ >



OPEN INNOVATION
PLATFORM

- オープンプラットフォーム
- 外部リソースとの連携

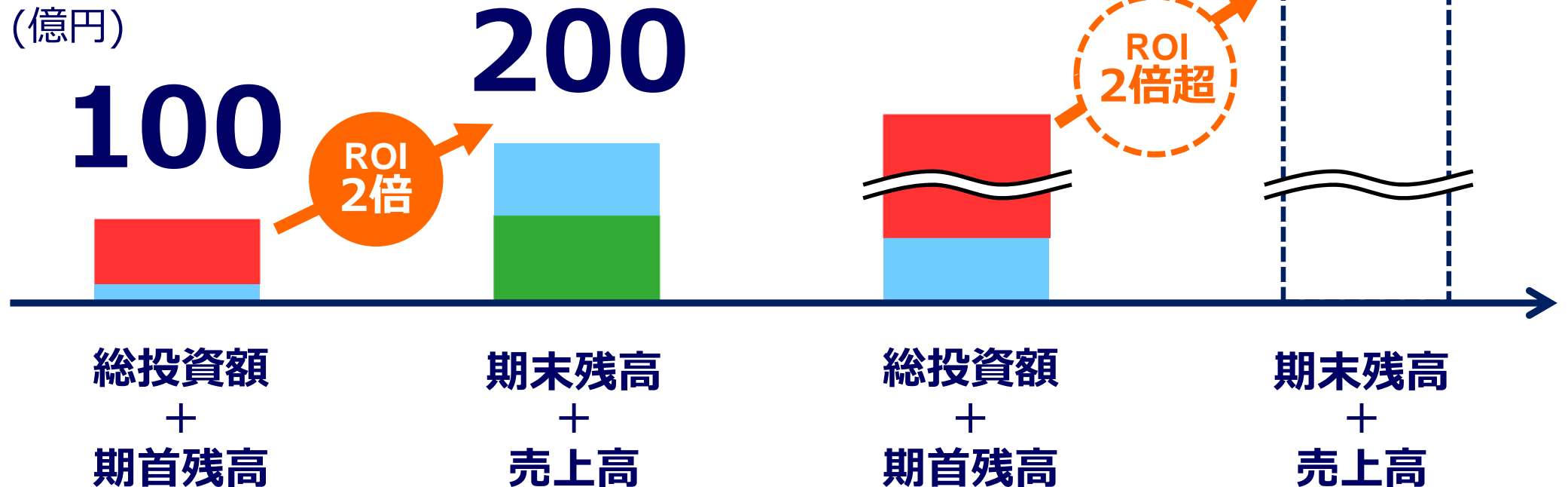


前中計では2倍のROIを実現、新中計では2倍超のROIを目指す

2013.6期 - 2015.6期

2016.6期 - 2018.6期

- ✓ トラックレコード
- ✓ 新たな成長領域への投資・育成
- ✓ DGのグローバルネットワーク
- ✓ シード・アクセラレーター



II マーケティングテクノロジーセグメント

| | 売上高 | 税引前利益 |
|------------------------|-------------------|------------------|
| 2015年6月期 2Q(7-12月)累計実績 | 7,781 百万円 | 524 百万円 |
| 2016年6月期 2Q(7-12月)累計実績 | 9,232 百万円 | 560 百万円 |
| 2016年6月期 通期計画 | 18,500 百万円 | 1,390 百万円 |

▶ マーケティングテクノロジーカンパニー

パフォーマンスアド、O2O、Webマーケティングを提供



▶ 株式会社 BI.Garage

データサイエンス事業、ソーシャルマーケティング、最先端アドテクを提供



▶ ナビプラス株式会社

ベリトランス子会社、ECサイト内レコメンドエンジンを提供



▶ 株式会社デジタルサイエンスラボ (出資比率50%/持分法適用会社)

スマートフォンアプリの広告ソリューションを提供



▶ LCO-Creation Singapore Pte. Ltd. (出資比率33.4%/持分法適用会社)

海外旅行に関するスマートフォンアプリサービスの開発運営



セグメント売上

92 億円

前年同期比 **+19 %**

パフォーマンス
アド売上

63 億円

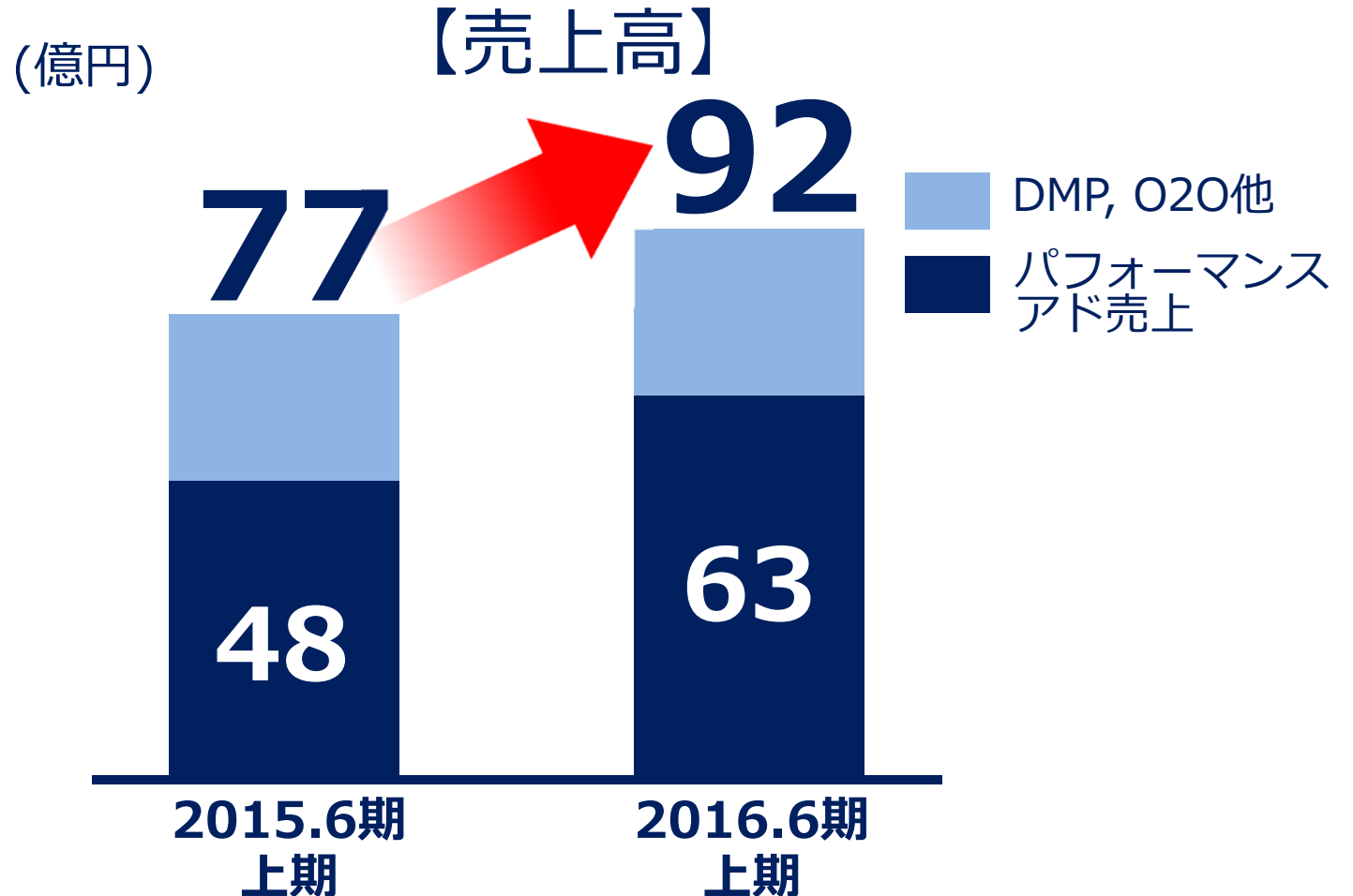
前年同期比 **+31 %**

スマホ比率

26 %

前年同期比 **+11 %pts**

アプリ領域が牽引、パフォーマンス
アド売上は前年同期比31%増



スマホ/アプリ領域が
業績を牽引

売上
17 億円

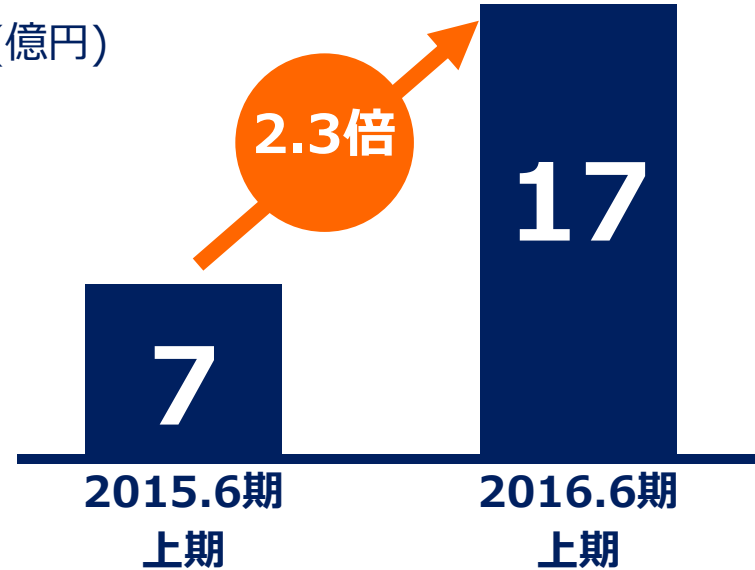
前年同期比 **2.3倍**

クライアント数
72 社

前年同期比 **3.0倍**

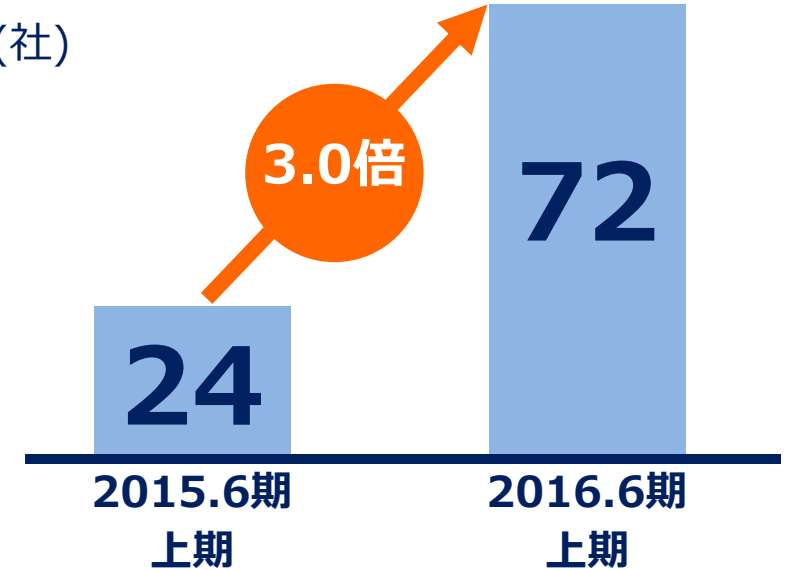
【売上高】

(億円)



【クライアント数】

(社)



- ✓ 市場の成長率を上回る成長率で業績を拡大
- ✓ アプリ広告売上(デジタルサイエンスラボ)が好調に推移し、新規クライアントも増加
- ✓ 市場成長を追い風に、スマホ領域におけるノウハウ蓄積による更なる成長を見込む

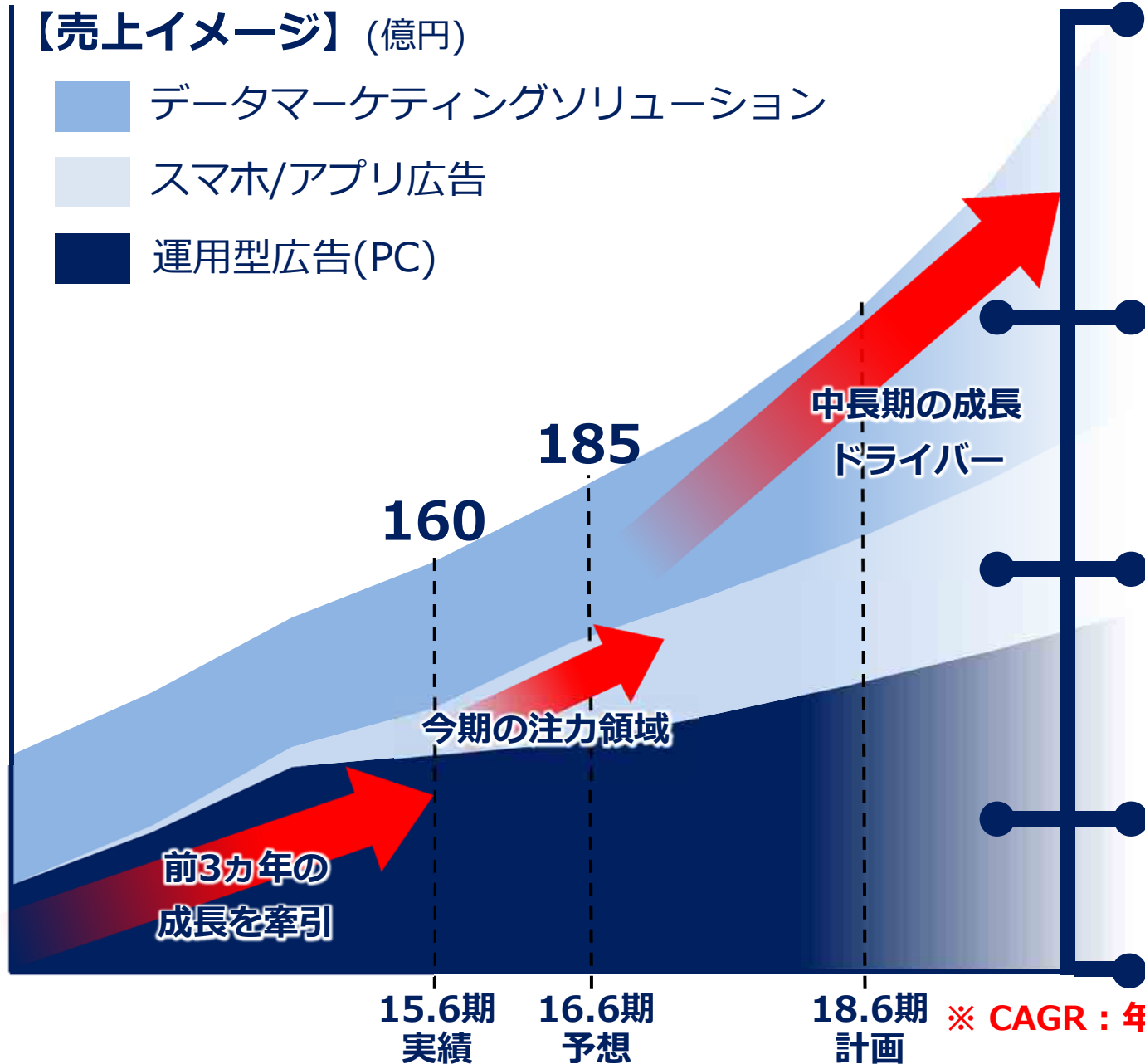
MTセグメント - 中長期の成長イメージ



context company

【売上イメージ】 (億円)

- データマーケティングソリューション
- スマホ/アプリ広告
- 運用型広告(PC)



今後の戦略

市場規模*

【データマーケティングソリューション】

- ✓ O2O/IoTで販促市場が拡大
- ✓ ビッグデータを活用した次世代マーケティングソリューションで成長加速

プロモーション
広告市場

2兆円

CAGR : +30%

【スマホ/アプリ広告】

- ✓ ノウハウ蓄積/Global展開

スマホ広告市場

0.3兆円

CAGR : +20%

【運用型広告(PC)】

- ✓ 金融、コスメ、人材に続く他業界への展開

計インターネット
広告市場

1兆円

CAGR : +15%

出所：電通「日本の広告費」、
(株)D2C・(株)サイバー・コミュニケーションズ「スマートフォン広告市場推計」

Ⅲ フィナンシャルテクノロジーセグメント

| | 売上高 | 税引前利益 |
|------------------------|-------------------|------------------|
| 2015年6月期 2Q(7-12月)累計実績 | 7,082 百万円 | 783 百万円 |
| 2016年6月期 2Q(7-12月)累計実績 | 8,052 百万円 | 867 百万円 |
| 2016年6月期 通期計画 | 15,500 百万円 | 1,840 百万円 |

▶ **econtext ASIA Ltd.**

決済事業香港法人



▶ **株式会社イーコンテクト**

国内最大級の現金系決済プロバイダー



▶ **ベリトランス株式会社**

国内最大級のカード決済プロバイダー



▶ **PT MIDTRANS** (Veritrans Indonesia 出資比率23%/非連結)

インドネシアの合併決済プロバイダー



▶ **Citrus Payment Solutions Pte. Ltd** (出資比率 15.59%/出資先)

インドのオンライン決済プロバイダー (Citrus Payment Solutions Pvt. Ltd)の持ち株会社



▶ **Sendo Technology JSC** (出資比率 13.89%/出資先)

ベトナムのC2C、B2C向けオンラインマーケットプレイス



年間取扱高

1兆円

前年同期比 +19 %

年間取扱件数

2億件

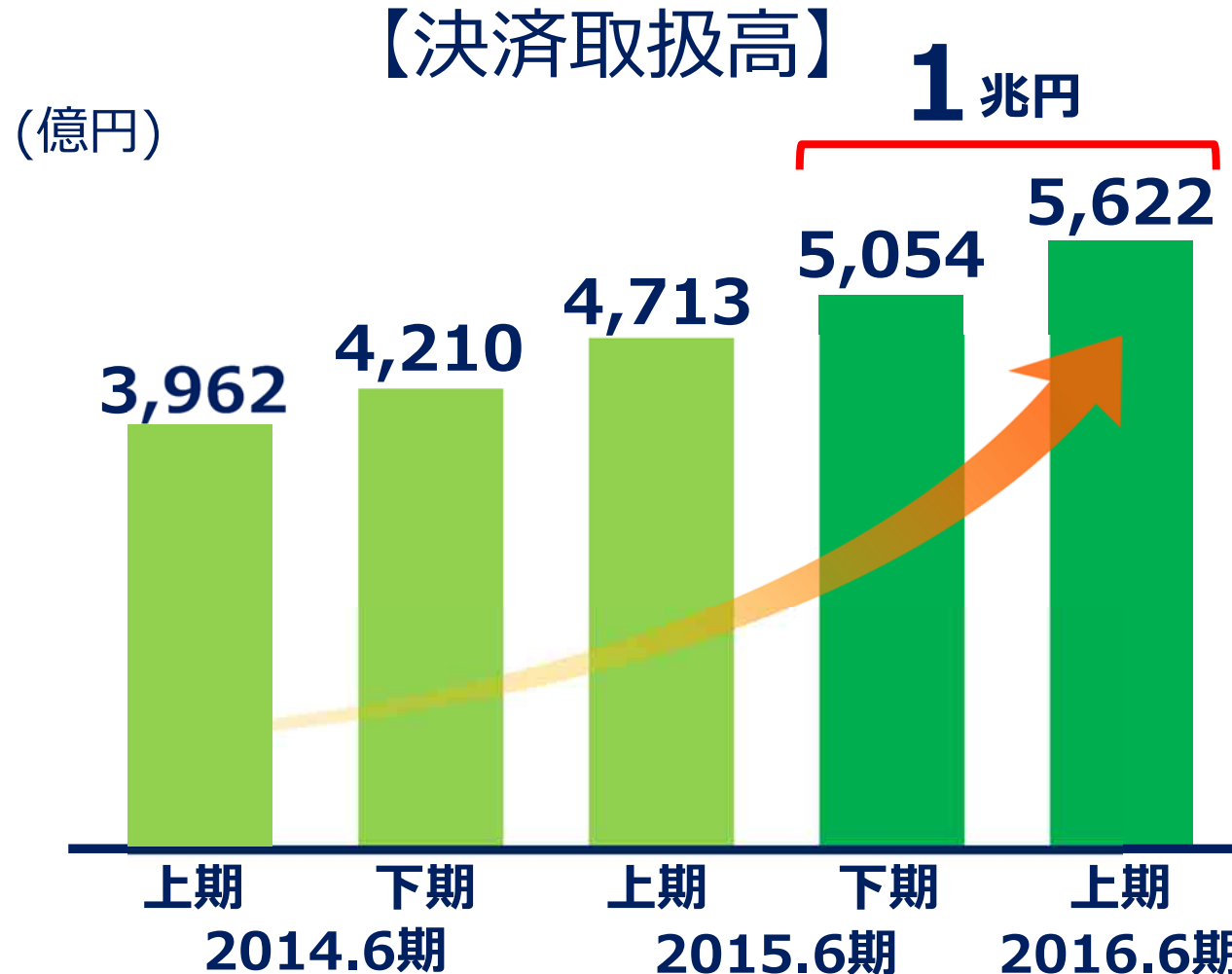
前年同期比 +21 %

市場成長率*

14%

* 経済産業省 「2014年 電子商取引に関する市場調査 (BtoC-EC)」

2015年の決済取扱高は1兆円を突破



決済取扱高

5,622 億円

前年同期比 **+19%**

セグメント売上

80 億円

前年同期比 **+14%**

セグメント営業利益

8.4 億円

前年同期比 **+42%**

組織再編によるコスト削減が寄与し、営業利益は大幅増
～ グループ内の経営資源の効率化が奏功 ～

| (百万円) | 15.6期 上期 | 16.6期 上期 | 前年 同期比 |
|-------|-------------|-------------|---------------|
| 取扱高 | 4,713 億円 | 5,622 億円 | +19.3% |
| 売上高 | 7,082 | 8,052 | +13.7% |
| 営業利益 | 591 | 842 | +42.4% |
| 営業利益率 | 8.4% | 10.5% | |
| 税前利益 | 783 | 867 | +10.7% |

- ・デジタルコンテンツ等の取扱増加
- ・オークションやフリマなどスマホを中心とした個人間売買(CtoC)の成長

- ・組織再編によるコスト削減
- ・グループ内の経営資源の効率化

- ・円安に伴う為替差益の発生
- ・アジア投資のインキュベーション成果の実現

今後の成長領域

- 次世代型決済
- 金融業界大手との協業
- 非EC決済（新市場）

EC決済 10 ~ 15%成長
(既存事業のオーガニック成長)

15.6期 実績
16.6期 予想

20.6期

次世代型決済

- ・ビットコイン等仮想通貨決済
- ・ブロックチェーン活用ソリューション
- ・金融スマートコントラクト

金融業界大手との協業

- ・りそな銀行、オリコカード等へ
決済システムのOEM開始、
融資事業等金融ビジネスへ展開、深耕

非EC決済（新市場）

- ・現在の展開分野と市場規模

- 飲食 (12兆円) → 
- 不動産賃貸 (9兆円) → 
- 葬儀 (1.7兆円) → 
- 教習所 (0.4兆円) → 

グローバル（アジア）展開



IV | メディアインキュベーションセグメント

| | 売上高 | 税引前利益 |
|------------------------|-----|------------------|
| 2015年6月期 2Q(7-12月)累計実績 | - | 3,129 百万円 |
| 2016年6月期 2Q(7-12月)累計実績 | - | 1,194 百万円 |
| 2016年6月期 通期計画 | - | 2,500 百万円 |

- ▶ **株式会社カカクコム** (出資比率20%/持分法適用会社)
価格比較サイト「価格.com」やグルメサイト「食べログ」の運営等

kakaku.com

持分法投資利益 —

10 億円

前年同期比 **+20%**

税引前利益 —

11 億円

前年同期比 Δ **62%**

特殊要因 (前期) —

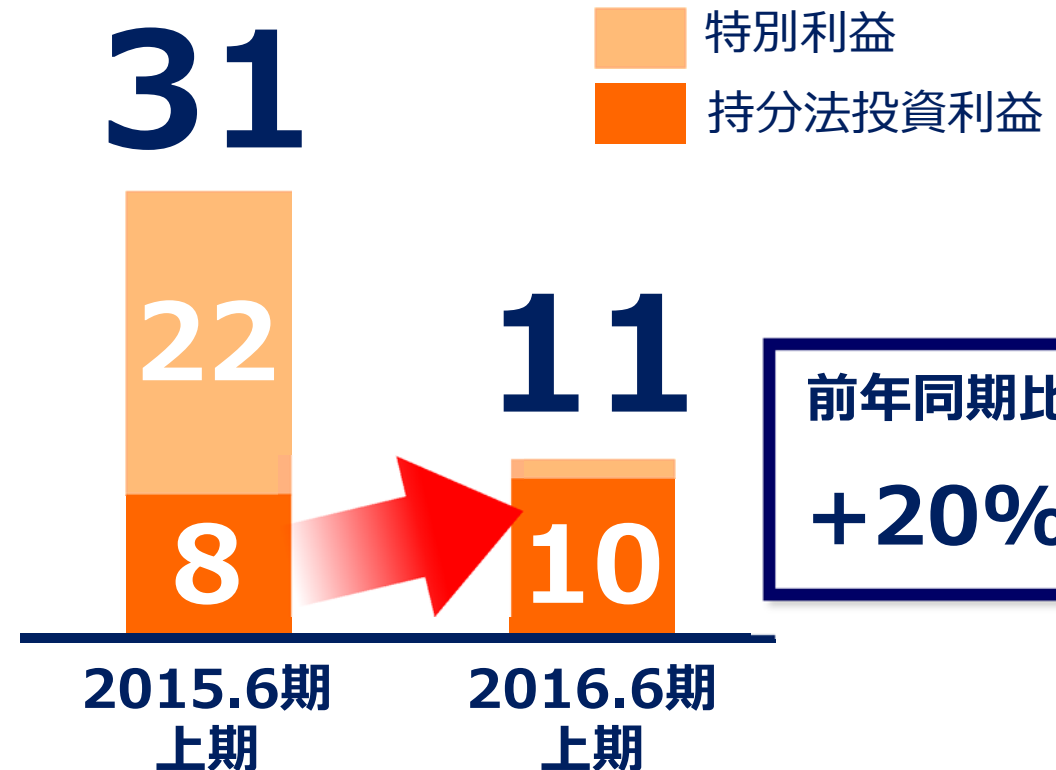
カカクコム自己株TOB
応募に伴う特別利益

22 億円

カカクコムの持分法投資利益が
順調に推移

【税引前利益】

(億円)




事業トピックス





OPEN INNOVATION PLATFORMの開始

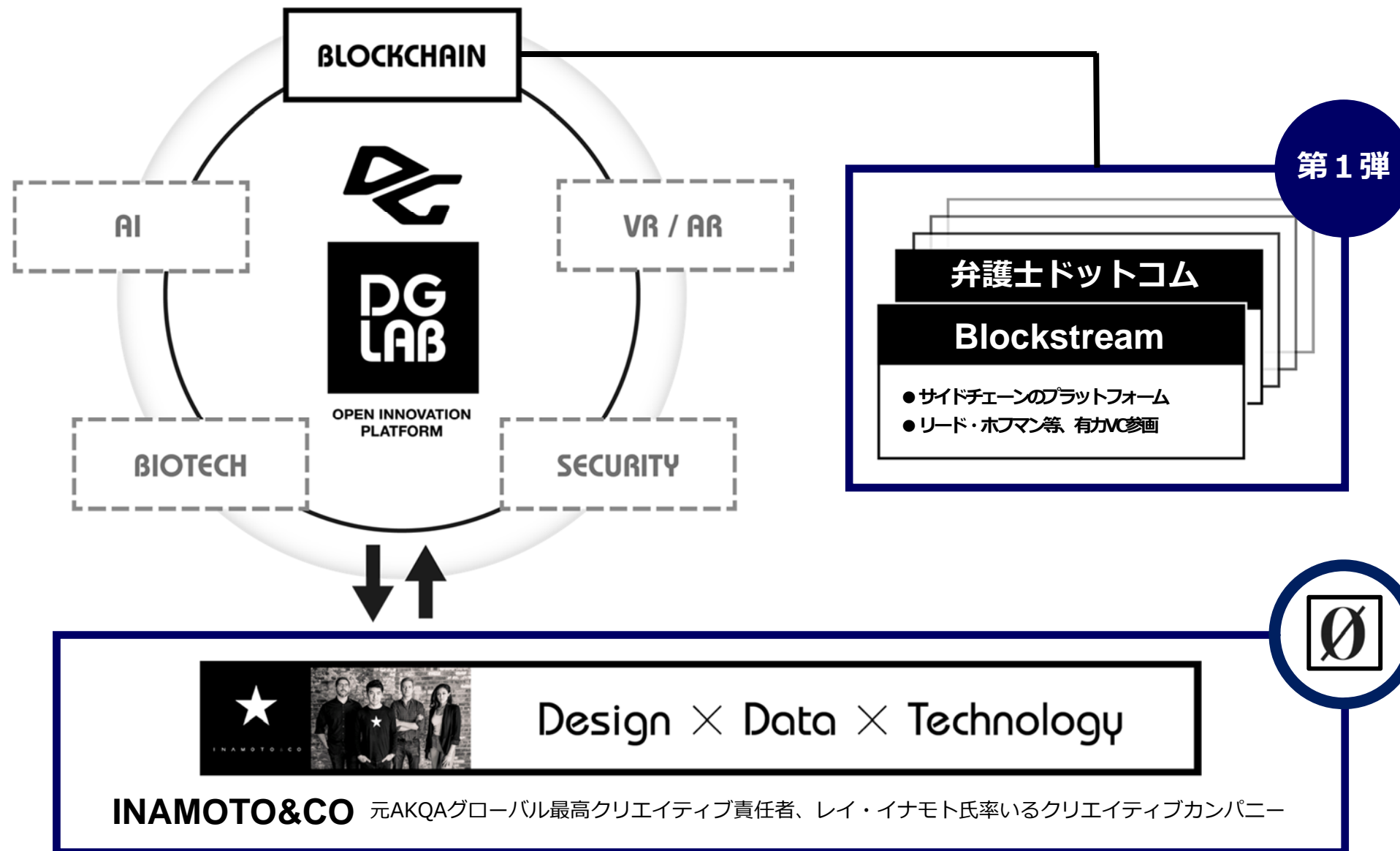
OPEN INNOVATION
PLATFORM

- ◆ コンセプト
- ◆ グランドデザイン
- ◆  グローバルクリエイティブカンパニーとの資本提携／ブランディング・クリエイティブ領域
- ◆ 第1弾 ブロックチェーン関連プロジェクト／FinTech領域の取り組み
⇒実証実験 with 弁護士ドットコム／リーガルテックの取り組み
- ◆ DG Labと3つのファクター

OPEN INNOVATION
PLATFORM

DG LAB とは

インターネットから生まれたオープンイノベーションの波がソフトウェア産業だけでなくハードウェア産業も飲み込み、さらにはバイオテクノロジーにまで及ぼうとしている現状では、さまざまな分野で技術が急速に進化していきます。こうした技術の多様な変化に柔軟に対応し、これまで同様に最先端の技術を取り込みながら事業を成長させるために、新たな事業の柱になる技術シーズを発掘するための研究開発組織「DG Lab」を発足します。DG Labでは「ブロックチェーン」「VR/AR」「AI」「セキュリティ」「バイオテクノロジー」を重点分野として選び、これらの分野で高いレベルの技術を持つ国内外の投資先企業と連携し、DGの新たな事業の柱となるプロダクトやサービスを生み出すことを目的とします。こうした分野において世界をリードする研究開発に関心のあるエンジニアやデザイナーが集まり活発に議論しながら開発に打ち込む、「テクノロジーのバウハウス」のような場になることを目指します。



UX/UIを越えた〈データサイエンスとクリエイティブの融合〉をDG LABで実現

著名クリエイターのレイ・イナモト氏が立ち上げた
グローバルブランドの支援企業Inamoto & Co.にリード出資

【Inamoto & Co.】

- 代表のレイ・イナモト氏は大手デジタルエージェンシー「AKQA」出身、Global Chief Creative Officerを歴任
- DGはリードインベスターとして出資（\$2M, 12.9%）、取締役を派遣

【DGの今後の取り組み】

- DGグループの海外ネットワークを活用、マーケティング × インキュベーションをハイブリッドに推進
- Open Network Labと連携し、クリエイティブ分野のメンタリング



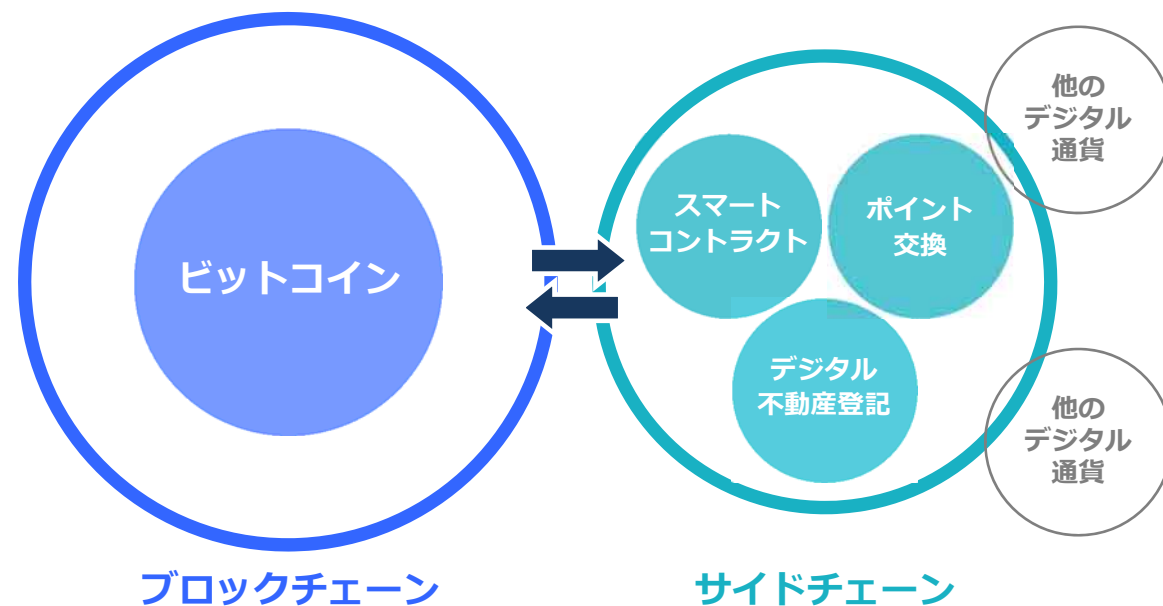
ブロックチェーン技術開発のBlockstream社に出資、 FinTech関連プロダクトの実証実験で連携へ



Blockstream

- 2014年、ビットコインの開発者や暗号技術、セキュリティの専門家を中心に設立
- ブロックチェーンと連動し、多目的な応用を容易にするオープンプラットフォーム「サイドチェーン」を開発
- LinkedIn創業者のReid Hoffman氏など著名投資家や有力VCから累計7,600万ドル調達

適用領域の広いサイドチェーン技術



デジタル通貨を束ねるプラットフォームやスマートコントラクト、
ポイント交換、不動産登記など幅広い領域に適用

ブロックチェーン技術を活用し、様々な企業と連携する オープンイノベーションを推進へ

技術パートナー

FinTech関連技術

ブロックチェーン技術など、FinTech
領域にて、有望なテクノロジーを開発
する企業との連携



事業パートナー

法曹界・金融機関

第1弾として、DGIの投資先で
ある弁護士ドットコムと連携、
「スマートコントラクト・システム」
を共同開発へ



- FinTech関連サービスの開発と実証実験
- 次世代決済プラットフォームやスマートコントラクトの開発など

※ 今後、カード会社や銀行、法曹界とのアライアンスを予定。決定後に正式発表いたします。

DESIGN × DATA × TECHNOLOGY

DESIGN

世界レベルの
クリエイティブ



DATA

戦略ストーリー&
データサイエンス



Digital Garage

TECHNOLOGY

構想を実現する
先端技術



O2OやIoTの進展でMT・FTの枠組みが変化、
新たな価値を創造する、「コンテクトデザイン」プロジェクト

Appendix



| 単位：百万円 | 2015.6期 | 2016.6期 | 前年同期比 | | 2016.6期 |
|-----------------|---------|---------|-------|--------|---------|
| | 2Q (実績) | 2Q (実績) | (比率%) | (金額) | 通期 (予想) |
| 売上高 | 17,887 | 19,843 | +10.9 | +1,956 | 41,000 |
| 営業利益 | 1,737 | 1,626 | -6.4 | -111 | 5,200 |
| 営業外収益 | 1,884 | 1,372 | -27.1 | -511 | |
| 持分法投資利益 | 905 | 1,060 | +17.1 | +155 | |
| 為替差益 | 708 | - | - | -708 | |
| 営業外費用 | 159 | 304 | 1.9 倍 | +145 | |
| 為替差損 | - | 112 | - | +112 | |
| 経常利益 | 3,462 | 2,694 | -22.2 | -768 | |
| 特別利益 | 2,302 | 117 | -94.9 | -2,184 | |
| 持分変動利益 | 2,234 | 99 | -95.6 | -2,134 | |
| 投資有価証券売却益 | 68 | - | - | -68 | |
| 税金等調整前当期純利益 | 5,693 | 2,802 | -50.8 | -2,891 | 8,200 |
| 法人税等 | 1,988 | 1,004 | -49.5 | -983 | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 3,506 | 1,796 | -48.8 | -1,709 | 5,500 |

| 単位：百万円 | 2015.6期 | 2016.6期 | 前年同期比 | | 2016.6期 |
|--------------------|---------|---------------|-------|--------|---------------|
| | 2Q (実績) | 2Q (実績) | (比率%) | (金額) | 通期 (予想) |
| 売上高 | 17,887 | 19,843 | +10.9 | +1,956 | 41,000 |
| IT インキュベーションテクノロジー | 3,023 | 2,557 | -15.4 | -465 | 7,000 |
| MT マーケティングテクノロジー | 7,781 | 9,232 | +18.7 | +1,451 | 18,500 |
| FT フィナンシャルテクノロジー | 7,082 | 8,052 | +13.7 | +969 | 15,500 |
| MI メディアインキュベーション | - | - | - | - | - |
| 税金等調整前当期純利益 | 5,693 | 2,802 | -50.8 | -2,891 | 8,200 |
| IT インキュベーションテクノロジー | 1,120 | 849 | -24.2 | -270 | 4,100 |
| MT マーケティングテクノロジー | 524 | 560 | +7.0 | +36 | 1,390 |
| FT フィナンシャルテクノロジー | 783 | 867 | +10.7 | +83 | 1,840 |
| MI メディアインキュベーション | 3,129 | 1,194 | -61.8 | -1,935 | 2,500 |
| (内、持分変動利益) | 2,234 | 99 | -95.6 | -2,134 | |

Note: セグメント税金等調整前当期純利益は、セグメント間取引消去及び全社費用等控除前



2016年6月期 第2四半期末 連結 要約B/S

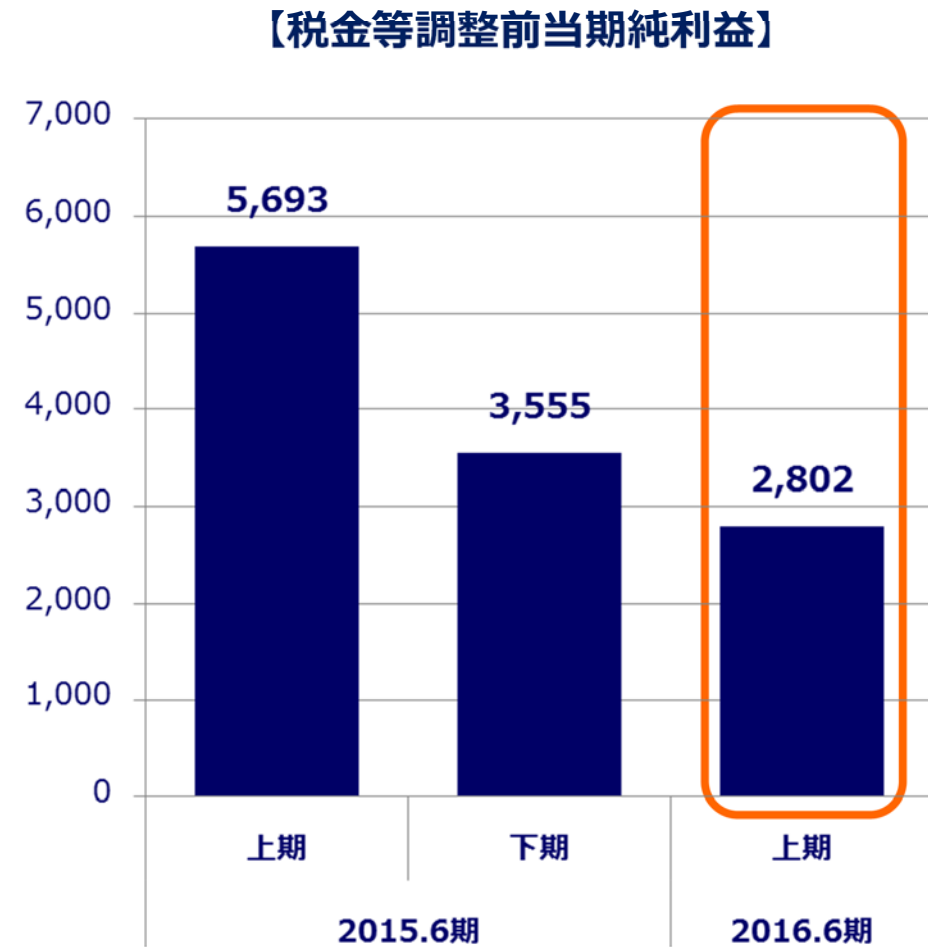
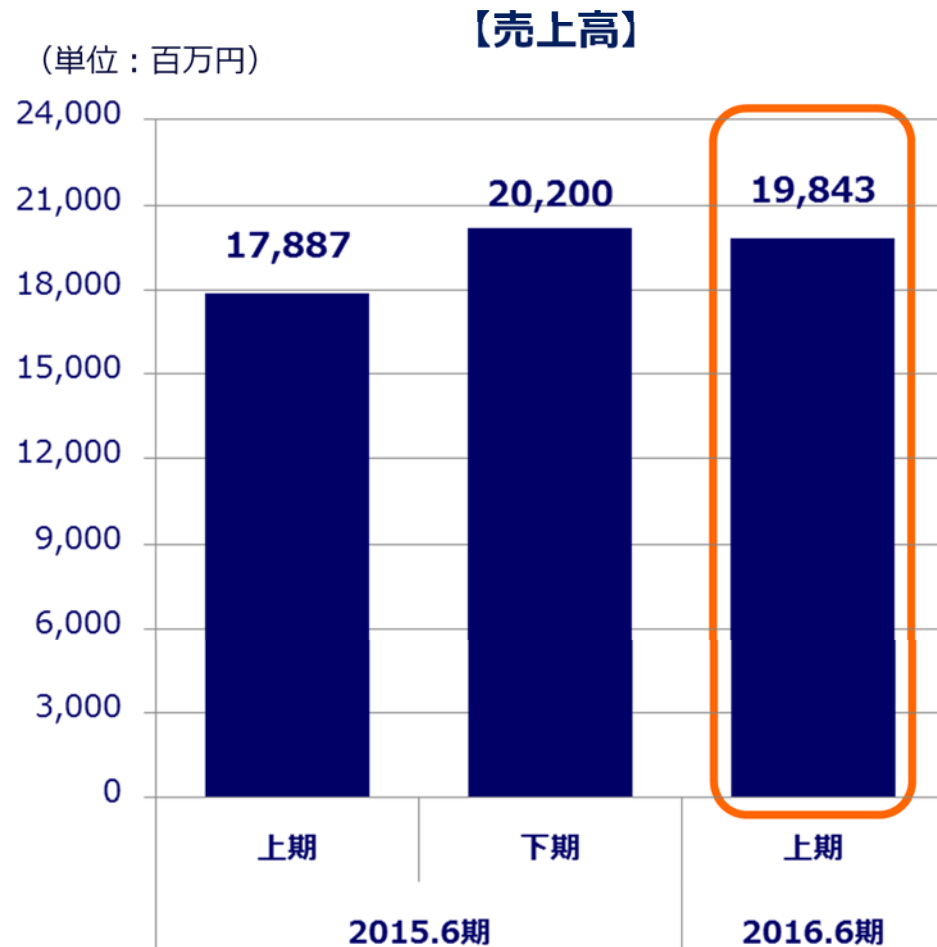


context company

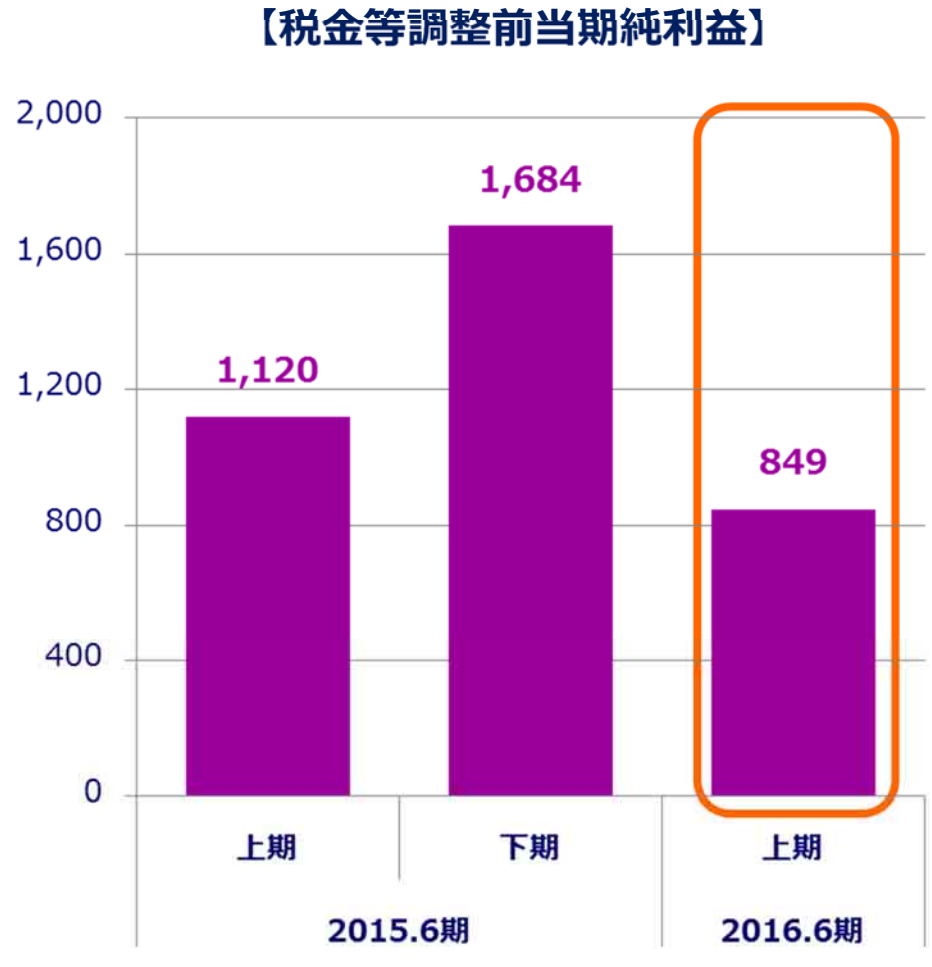
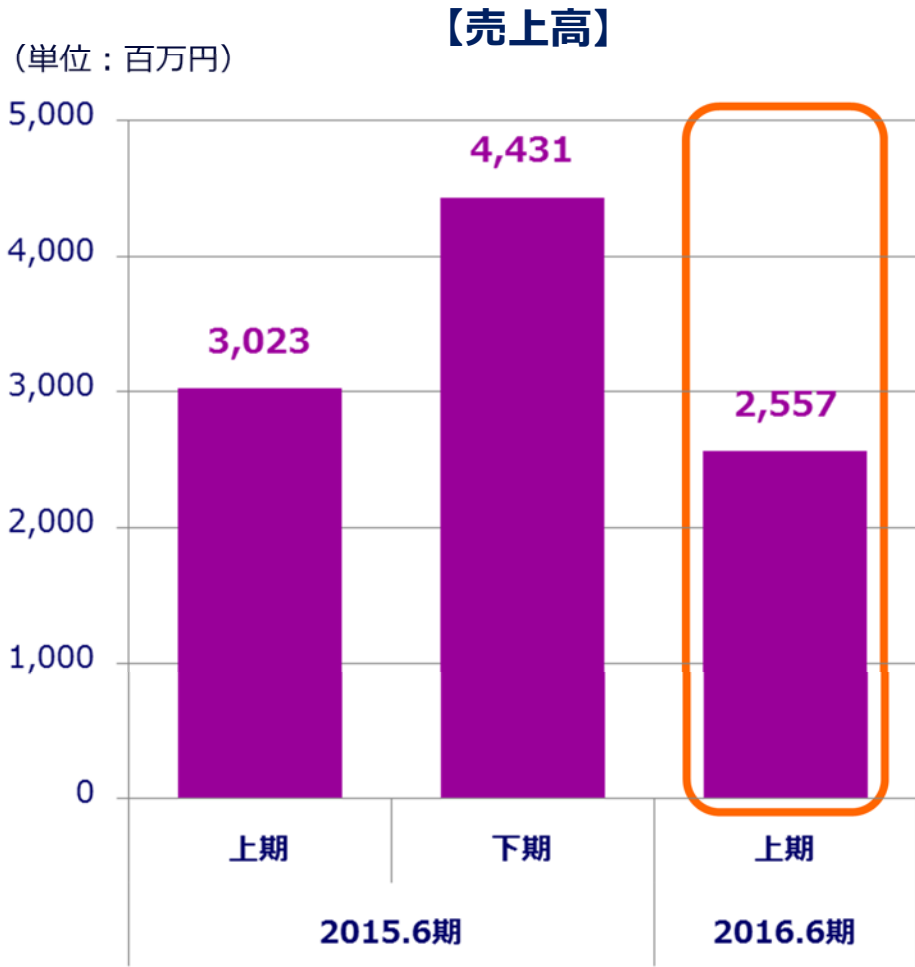
| (単位：百万円) | 2015.6期末 | 2016.6期 2Q末 | 前期末比 (金額) | 主たる変動要因/備考 |
|-----------------|----------|-------------|-----------|---|
| 流動資産 | 57,742 | 55,893 | -1,849 | |
| 現預金 | 30,956 | 20,319 | -10,636 | 法人税と配当金の支払、借入返済及び新規投資等 |
| 未収入金 | 11,646 | 14,536 | +2,890 | 決済事業関連科目 |
| 金銭の信託 | 3,120 | 3,614 | +494 | 決済事業関連科目 |
| 営業投資有価証券 | 8,208 | 13,217 | +5,009 | 新規投資、投資先上場に伴う時価評価等 |
| 固定資産 | 28,752 | 28,155 | -596 | |
| 投資有価証券 | 14,220 | 13,685 | -534 | 営業投資有価証券への一部区分変更、持分法投資利益の取込、投資先株式の時価評価等 |
| のれん | 6,237 | 6,001 | -235 | |
| 資産合計 | 86,495 | 84,048 | -2,446 | |
| 流動負債 | 50,623 | 37,337 | -13,286 | |
| 預り金 | 20,998 | 27,055 | +6,056 | 決済事業関連科目 |
| 短期借入金 | 23,533 | 5,207 | -18,326 | econtext Asia社株式取得資金の借入の一部返済 |
| 固定負債 | 6,805 | 17,601 | +10,795 | |
| 長期借入金 | 5,546 | 16,693 | +11,146 | 長期安定的な資金調達による借換 |
| 負債合計 | 57,429 | 54,939 | -2,490 | |
| 純資産 | 29,065 | 29,109 | +44 | |
| 株主資本 | 24,640 | 25,263 | +622 | |
| 資本金 | 7,426 | 7,435 | +8 | |
| 資本剰余金 | 2,854 | 2,846 | -7 | |
| 利益剰余金 | 14,429 | 15,050 | +621 | |
| その他の包括利益累計額 | 4,002 | 3,410 | -591 | |
| 有価証券評価差額金 | 2,585 | 2,110 | -475 | 時価のある有価証券の税引後含み益 |
| 負債・純資産合計 | 86,495 | 84,048 | -2,446 | |

2016.6期2Q(7-12)は、売上高前年同期比10%増収

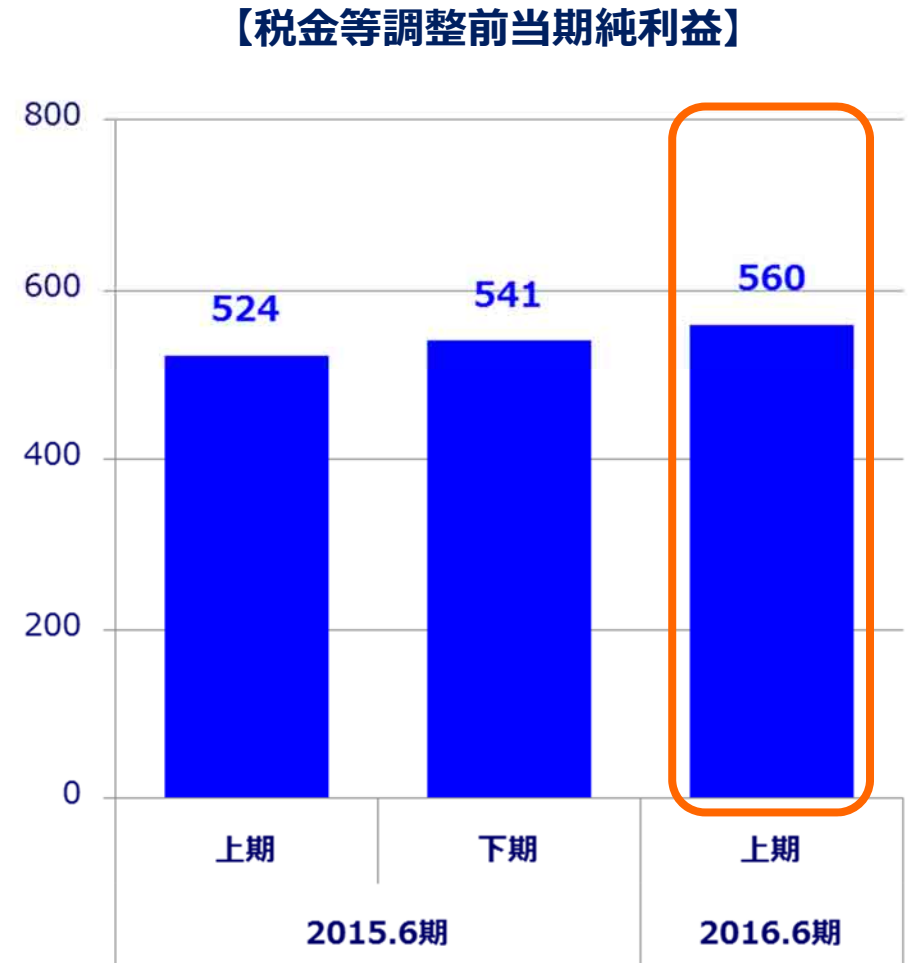
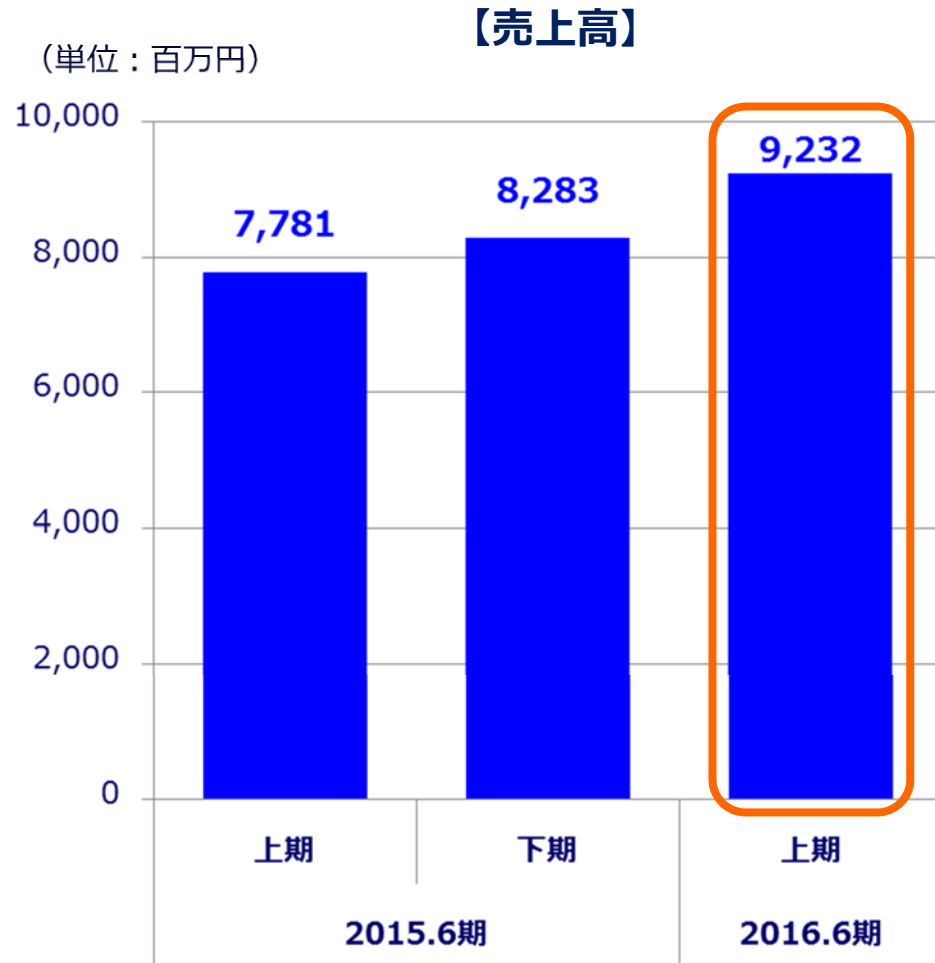
～ 売上高は上半期過去最高を更新、MT/FTが業績を牽引 ～



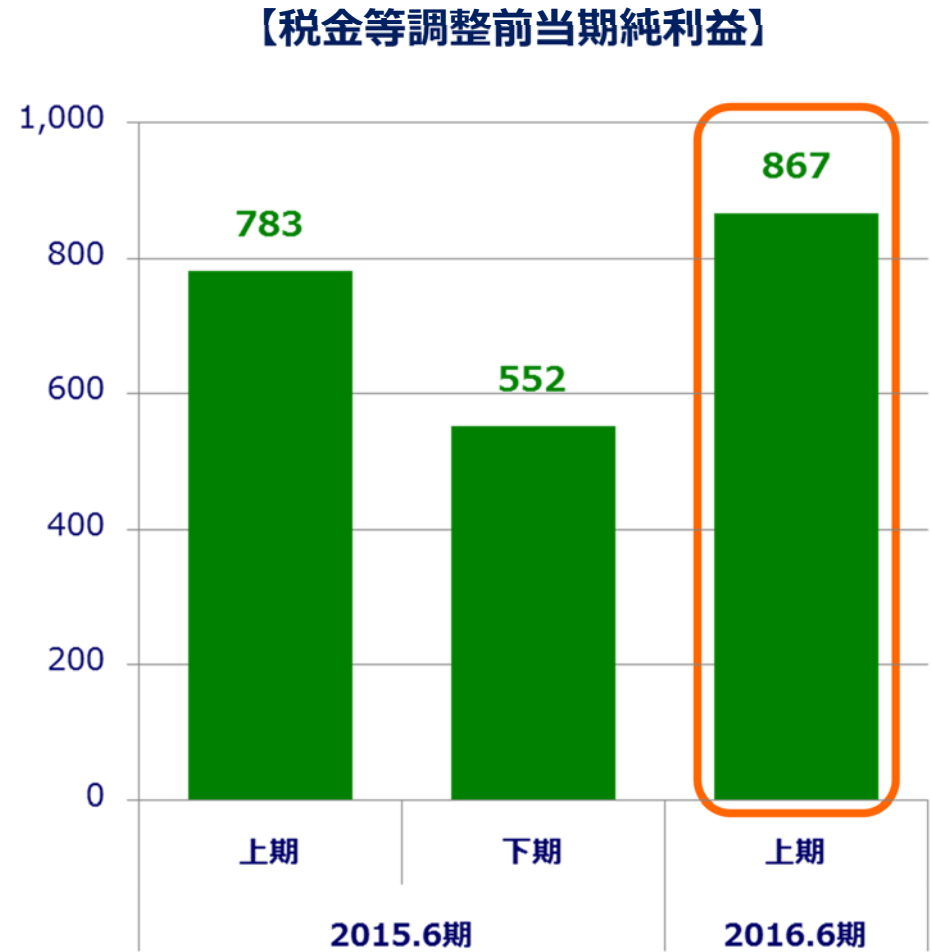
保有株式を一部売却、インキュベーション成果を実現
 ～ 国内外の投資ポートフォリオを拡充、投資残高は130億円まで拡大 ～



パフォーマンスアドに続き、スマートフォン向けアプリ広告が順調に拡大
～ データ関連事業への先行投資を積極化 ～



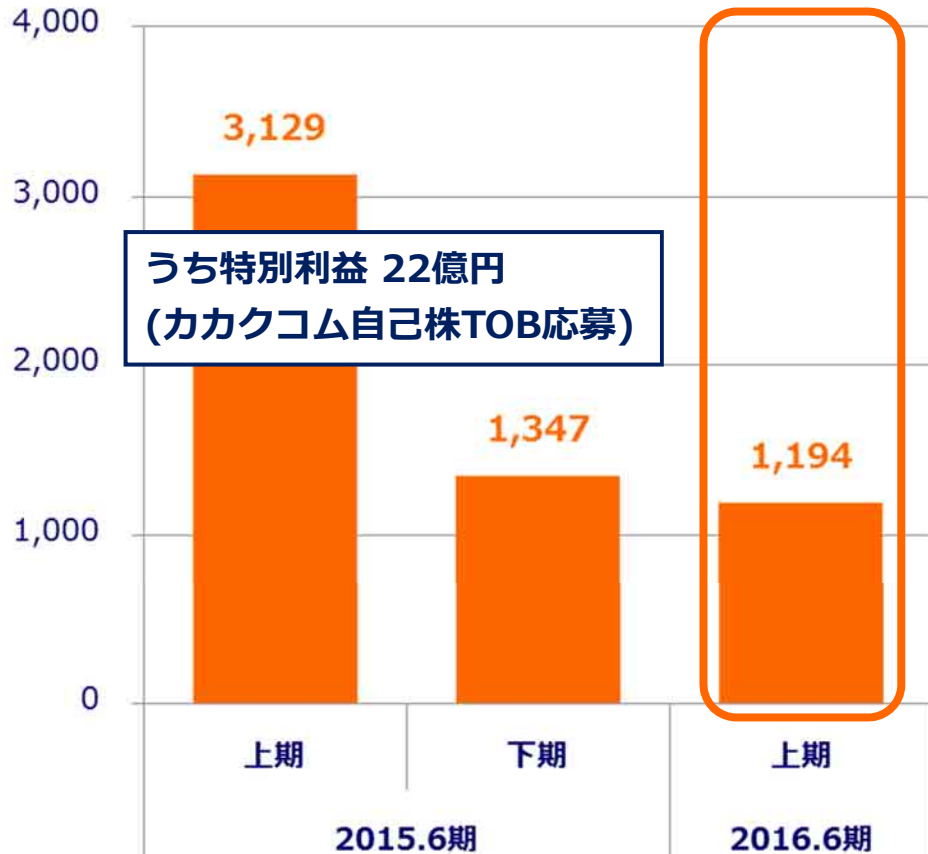
決済取扱高が大幅に拡大、売上高は前年同期比13%増
～ 非EC領域(飲食, 不動産等)での基盤拡大、金融機関への「決済OEM」提供を強化～



カカクコムの持分法投資利益が順調に推移 ～ メディアを核に、インキュベーション事業を立ち上げ～

【税引前当期純利益】

(単位：百万円)



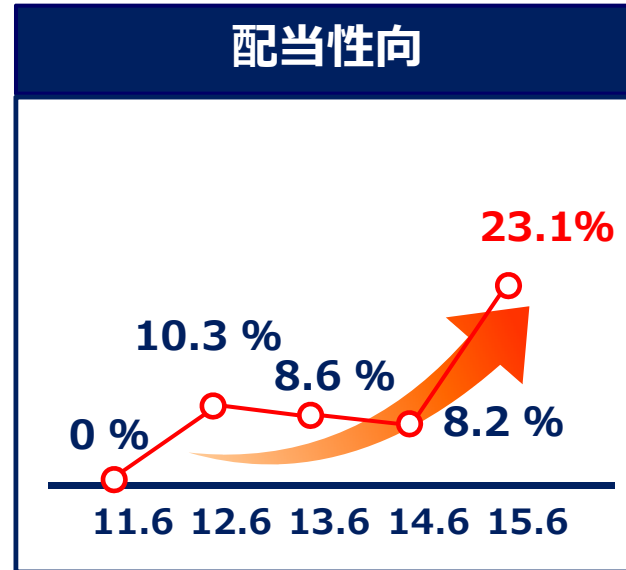
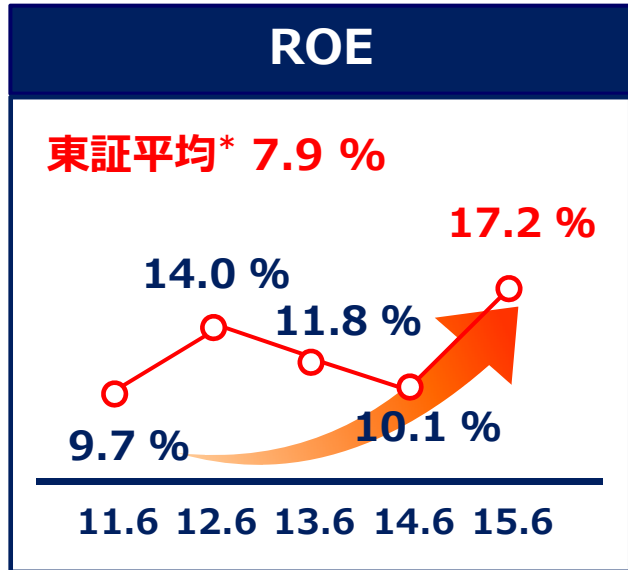
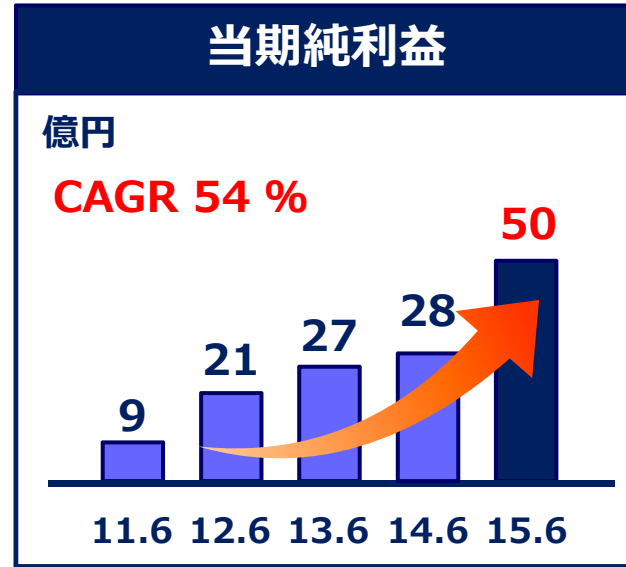
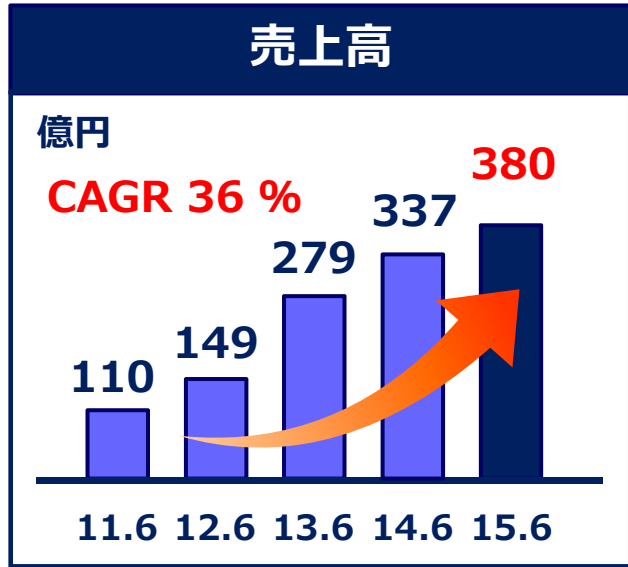
Note：カカクコム社と当社は決算期が異なるため、当社上期決算にはカカクコム社上期決算(4-9月)を取込み

【月間ユニークユーザー数】

(単位：万人)



カカクコム社 2016年3月期第2四半期決算説明資料より



Note) * 東京証券取引所 2015年3月期決算短信集計 (市場第一部、市場第二部、JASDAQ、マザーズ)



四半期業績推移（連結）

| 単位：百万円 | 2015.6期 | | | | 2016.6期 | |
|-----------------|---------|-------|-------|--------|---------|-------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q |
| 売上高 | 8,126 | 9,760 | 8,377 | 11,822 | 10,336 | 9,507 |
| 営業利益 | 390 | 1,347 | 461 | 2,610 | 1,425 | 201 |
| 経常利益 | 1,165 | 2,297 | 928 | 3,218 | 1,863 | 831 |
| 税金等調整前当期純利益 | 1,204 | 4,488 | 972 | 2,582 | 1,941 | 860 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 772 | 2,733 | 571 | 1,004 | 1,196 | 599 |

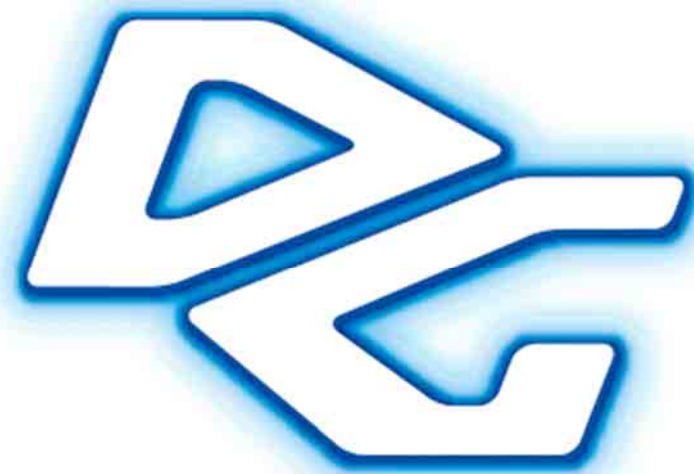
| 単位：百万円 | 2015.6期 | | | | 2016.6期 | |
|--------------------|--------------|--------------|--------------|---------------|---------------|--------------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q |
| 売上高 | 8,126 | 9,760 | 8,377 | 11,822 | 10,336 | 9,507 |
| IT インキュベーションテクノロジー | 1,035 | 1,987 | 697 | 3,733 | 1,899 | 657 |
| MT マーケティングテクノロジー | 3,669 | 4,111 | 4,003 | 4,279 | 4,502 | 4,730 |
| FT フィナンシャルテクノロジー | 3,421 | 3,661 | 3,675 | 3,810 | 3,934 | 4,118 |
| MI メディアインキュベーション | - | - | - | - | - | - |
| 税金等調整前当期純利益 | 1,204 | 4,488 | 972 | 2,582 | 1,941 | 860 |
| IT インキュベーションテクノロジー | 93 | 1,026 | △ 8 | 1,692 | 1,064 | △ 215 |
| MT マーケティングテクノロジー | 236 | 287 | 316 | 224 | 247 | 313 |
| FT フィナンシャルテクノロジー | 391 | 391 | 377 | 174 | 413 | 453 |
| MI メディアインキュベーション | 443 | 2,686 | 682 | 664 | 627 | 566 |

Note: セグメント税金等調整前当期純利益は、セグメント間取引消去及び全社費用等控除前

| リリース日 | | リリース内容 |
|-------------|--|--|
| 2016年2月7日 |  Digital Garage | デジタルガレージ、カスタマー・コミュニケーションズと資本業務提携 マーケティング事業での連携を推進 |
| 2016年2月4日 |  DG INCUBATION | デジタルガレージ、ブロックチェーン技術開発のBlockstreamに出資 FinTech関連プロダクトの実証実験で連携へ |
| 2016年2月2日 |  Digital Garage | デジタルガレージ、著名クリエイターのレイ・イナモト氏が立ち上げたグローバルブランドの支援企業Inamoto & Co.にリード出資 |
| 2016年1月18日 |  Digital Garage | デジタルガレージのオンライン決済事業、年間総取扱高が1兆円を突破、スマホ決済の浸透などを追い風に、年間総取扱件数は2億件を超える |
| 2016年1月14日 |  Digital Garage | デジタルガレージ、アフィリエイト広告掲載メディアのサイトパトロール体制を強化 |
| 2015年12月16日 |  Digital Garage | デジタルガレージ、ゲーム向けのイラスト・3DCG制作のフォーモアに出資、国内外の3000名のクリエイターを束ねたクラウドソーシングサービスを提供 |
| 2015年12月7日 |  veritrans | ベリトランス、さくら観光の展開する高速バスサービスに、音声自動応答型カード決済ASPサービスを提供開始 |
| 2015年12月3日 |  Digital Garage | デジタルガレージ、三井住友カードと共同で「GlobePass」のサービスサイトをリニューアル |
| 2015年12月1日 |  NaviPlus | ナビプラス、クロスボーダーEC分野及びセキュリティ分野に事業領域を拡大 |
| 2015年11月19日 |  veritrans | ベリトランス、リクルートライフスタイルが提供するモバイル決済サービス『モバイル決済 for Airレジ』でLINE Payと提携 |
| 2015年11月17日 |  veritrans | ベリトランス、中小企業向け簡易決済サービス『VeriTrans Air』で、決済ページURL記載メールを管理画面より自動送信できるメールリンク機能を提供開始 |
| 2015年11月16日 |  Digital Garage | デジタルガレージ、三井住友カードの会員向けアプリ「Vpassアプリ」のリニューアルを設計、開発 |
| 2015年11月16日 |  Digital Garage | デジタルガレージ、キュレーションメディアDiggに出資、サービスの日本展開を支援 |

| リリース日 | | リリース内容 |
|-------------|---|--|
| 2015年11月5日 |  Digital Garage | デジタルガレージ、Open Network Labのグローバル展開を本格化、北米と欧州、アジアをつなぎ、世界を目指す起業家を支援へ |
| 2015年11月4日 |  Digital Garage | デジタルガレージ、人工知能エンジン搭載のECサイト向け販促サービス「ZenClerk」を運営するEmotion Intelligence社に出資 |
| 2015年11月2日 |  Digital Garage | デジタルガレージ米国法人とスクラムベンチャーズが業務提携 日本企業のシリコンバレー進出を共同で支援へ |
| 2015年11月2日 |  DG INCUBATION | デジタルガレージ、企業向けITサービス開発のグローバルソーシング事業「セカイラボ」を展開するモンスター・ラボ社に出資 |
| 2015年10月30日 |  veritrans | ベリトランス、りそなグループのECマルチ決済サービス「りそなPayResort」の決済基盤に「VeriTrans3G」提供 |
| 2015年10月23日 |  Digital Garage | デジタルガレージ、「THE NEW CONTEXT CONFERENCE 2015 San Francisco」を開催 |
| 2015年10月20日 |  veritrans | コマースソリューション大手のデマンドウェアとベリトランスが提携 「デマンドウェア コマースクラウド」に決済サービス「ベリトランス3G」との連携機能を標準搭載 |
| 2015年10月19日 |  Digital Garage | デジタルガレージ、三井住友カード、アイリッジが協業し「三井住友VISA太平洋マスターズ」公式アプリをリニューアル |
| 2015年10月13日 |  econtext | イーコンテキスト、教習所向けクレジットカード決済「免許PAY」を提供開始 |
| 2015年10月2日 |  Open Network Lab | Open Network Lab、起業家育成プログラム「Seed Accelerator Program」第12期生の募集を開始 |
| 2015年10月1日 |  veritrans | 金融大航海時代に向けたベリトランス新経営体制について |
| 2015年10月1日 |  Digital Garage | デジタルガレージ、MITメディアラボの客員研究員を公募 |
| 2015年9月29日 |  veritrans | ベリトランスがリクルートライフスタイル、Alipay（アリペイ）と提携へ、日本初のAlipay国際決済の対面決済を「Airレジ」で提供 |

| リリース日 | | リリース内容 |
|------------|--|--|
| 2015年9月24日 |  Veritrans | パルコが「カエルパルコ」にBuySmartJapanを採用し、訪日観光客をオンラインストアでリピーターにすることで海外販売を強化 |
| 2015年9月15日 |  Digital Garage | デジタルガレージ、在日フランス大使館貿易投資庁と共同で「フレンチテック東京第一回ピッチセッション」を開催 |
| 2015年9月15日 |  Digital Garage | デジタルガレージ、台湾「HAPPY GO」と協業、台湾最大のポイントサービスを日本国内で独占的に提供へ |
| 2015年9月7日 |  Digital Garage | デジタルガレージ、役職員の独立支援制度を拡充、適用対象を拡大し「ファーストペンギン・スピリット」の実践を促進 |
| 2015年9月7日 |  Veritrans | 「小さなお葬式」のユニクエストとベリトランスが提携し全国の葬祭事業者から10月から「モニペイ（セレモニーあんしん決済）」を提供、葬儀費用のクレジットカード支払いを可能に |
| 2015年9月7日 |  BI.GARAGE | BI.GarageとUBICが協業し、日本初となる人工知能を活用したSNSマーケティング支援サービスを開始 |
| 2015年8月31日 |  Veritrans | 三井住友カードとベリトランスが共同で「GlobePass」会員を対象に「BuySmartJapan」優待キャンペーンを開始 |
| 2015年8月26日 |  Digital Garage | デジタルガレージ、ウィルゲートと協業しコンテンツマーケティング支援事業を開始 |
| 2015年8月7日 |  Digital Garage | 講談社とデジタルガレージがコンテンツ事業の北米展開を本格開始 |
| 2015年8月3日 |  NaviPlus | ナビプラス、ウェブサイト離脱したユーザーにリアルタイムにメール配信する新サービス「NaviPlusリタゲメール」を提供開始 |
| 2015年8月03日 |  Digital Garage | デジタルガレージ、ジャックスにプライベートDMPの提供を開始 |
| 2015年7月17日 |  DG INCUBATION | DGインキュベーションの出資先である株式会社アイリッジ、東証マザーズ上場 |
| 2015年7月8日 |  Digital Garage | デジタルガレージ、西日本におけるWeb広告事業を本格展開へ 専門部署を発足し大阪を中心とした営業活動を強化 |



Digital Garage

本資料に記載された今後の見通し、戦略などは現在の弊社の判断であり、様々な要因の変化により、将来の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。この文書は、投資家向け説明資料として一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。また、この文書は、米国その他証券の売付けまたは買付けの勧誘を行うにあたり証券法の登録または資格要件の充足が必要となる地域における証券の売付けまたは買付けの勧誘を構成するものではありません。当社又は当社連結子会社の証券いかなる証券も 米国の1933年証券取引法（以下「1933年米国証券法」といいます。）に基づいた登録がなされておらず、1933年米国証券法に基づく登録を行うか、または登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の売付けまたは勧誘を行うことはできません。米国において証券の公募を行う場合には、公募を行う会社およびその経営陣ならびに財務諸表に関する情報を記載した目論見書によって行うこととなります。